

一般財団法人下関市公営施設管理公社定款

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、一般財団法人下関市公営施設管理公社（以下「公社」という。）という。

(事務所)

第2条 公社の主たる事務所は、山口県下関市唐戸町4番1号カラトピア4階に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 公社は、下関市、国、下関市以外の地方公共団体又は公共団体等と密接な連携を保ち、下関市が設置する施設及び下関市内及びその周辺地域に設置された国、下関市以外の地方公共団体又は公共団体等の施設の管理運営について、下関市、国、下関市以外の地方公共団体又は他の公共団体等から指定管理者の指定、業務の委託を受け、又は施設を借り受け、効率的に当該施設の設置目的等を達成することにより、市民等の福利厚生の上昇及び地域社会の健全な発展に寄与すること、その他市民の利便性の向上を図ることを目的とする。

(事業)

第4条 公社は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 下関市、国、下関市以外の地方公共団体又は公共団体等から指定管理者の指定を受けて、又は業務の委託を受けて行う前条に規定する施設の管理運営
- (2) 管理運営する施設を利用した市民、勤労者及び高齢者並びにその他公衆の教養及び文化の向上に関する事業
- (3) 管理運営する施設を利用した市民、勤労者及び高齢者等の健康と福祉の増進並びに公衆衛生の向上を目的とする事業
- (4) 管理運営する施設を利用した市民、勤労者及び高齢者等の体育の振興を図るための事業
- (5) 管理運営する施設を利用した地域交流の場の提供

- (6) 駐車場及び駐輪場の管理運営等地域の健全な発展を目的とする事業
- (7) その他公社の目的を達成するために必要な事業

第3章 財産及び会計

(基本財産)

第5条 公社の目的である事業を行うために不可欠な別表の財産は、公社の基本財産とする。

- 2 基本財産は、公社の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管理しなければならず、基本財産の一部を処分しようとするとき及び基本財産から除外しようとするときは、あらかじめ理事会及び評議員会の承認を要する。
- 3 基本財産の維持及び処分について必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

(事業年度)

第6条 公社の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第7条 公社の事業計画書及び収支予算書は、理事長が作成し、毎事業年度開始の日の前日までに理事会の決議を経て、評議員会へ報告するものとする。
これを変更する場合も同様とする。

(事業報告及び決算)

第8条 公社の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
 - (2) 事業報告の附属明細書
 - (3) 公益目的支出計画実施報告書
(公益目的支出計画の実施が完了したことの確認を受けるまでの期間に限る)
 - (4) 貸借対照表
 - (5) 損益計算書(正味財産増減計算書)
 - (6) 貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の附属明細書
- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第5号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号及び第3号の書類については

その内容を報告し、第4号及び第5号の書類については承認を受けなければならない。

(剰余金の処分制限)

第9条 公社は、剰余金の分配を行わない。

第4章 評議員

(定数)

第10条 公社は、評議員3名以上5名以内を置く。

(選任等)

第11条 評議員の選任及び解任は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第179条から第195条の規定に従い、評議員会の決議により行う。

2 評議員は、公社又はその子法人の理事又は監事若しくは使用人を兼ねることができない。

(任期)

第12条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。

3 評議員は、第10条に定める定数に足りなくなるときは、辞任又は任期満了後においても、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(報酬等)

第13条 評議員に対して、各事業年度の総額が42万円を超えない範囲で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、報酬として支給することができる。

2 評議員には、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。

第5章 評議員会

(構成及び権限)

第14条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

2 評議員会は、次の事項を決議する。

- (1) 理事及び監事の選任及び解任
- (2) 理事及び監事に対する報酬等の額又はその支給の基準
- (3) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 定款の変更
- (5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認
- (6) 残余財産の帰属
- (7) 基本財産の処分又は除外の承認
- (8) 合併、事業の全部若しくは一部の譲渡
- (9) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開 催)

第15条 評議員会は、定時評議員会及び臨時評議員会とする。

- 2 定時評議員会は、毎事業年度終了後3ヶ月以内に開催する。
- 3 臨時評議員会は、必要がある場合には、いつでも開催することができる。

(招 集)

第16条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き理事会の決議に基づき、理事長が招集する。

- 2 前項にかかわらず、評議員は理事に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。
- 3 前項による請求があったときは、理事長は遅滞なく評議員会を招集しなければならない。
- 4 第2項の請求をした評議員は、次の場合には、裁判所の許可を得て、評議員会を招集することができる。

- (1) 請求後遅滞なく招集の手続が行われない場合。
- (2) 請求があった日から6週間以内の日を評議員会の日とする招集の通知が発せられない場合。

(招集の通知)

第17条 理事長は、評議員会の開催日の1週間前までに、評議員に対して、会議の日時、場所、目的である事項を記載した書面により招集の通知を発しなければならない。

- 2 前項にかかわらず、評議員全員の同意があるときは、招集の手続を経ることなく、評議員会を開催することができる。

(決議)

第18条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上にあたる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (3) 定款の変更
- (4) 基本財産の処分又は除外の承認
- (5) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第23条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(決議の省略)

第19条 理事が、評議員会の目的である事項について提案した場合において、その提案について、議決に加わることのできる評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなす。

(報告の省略)

第20条 理事が評議員の全員に対し、評議員会に報告すべき事項を通知した場合において、その事項を評議員会に報告することを要しないことについて、評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その事項の評議員会への報告があったものとみなす。

(議事録)

第21条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成しなければならない。

2 理事長及び出席した評議員の中から選任された議事録署名人2名は、前項の議事録に記名押印する。

(評議員会運営規則)

第22条 評議員会の運営に関し必要な事項は、法令又はこの定款に定めるもののほか、評議員会において定める評議員会運営規則による。

第6章 役員

(役員を設置)

第23条 会社に、次の役員を置く。

(1) 理事 3名以上10名以内

(2) 監事 1名以上2名以内

2 理事のうち理事長を1名、専務理事を1名とする。

3 前項の理事長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律に規定する代表理事とし、専務理事をもって同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(選任等)

第24条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 理事長及び専務理事は、理事会において選定する。

3 監事は、会社又はその子法人の理事又は使用人を兼ねることができない。

4 理事のうち、理事のいずれか1名とその配偶者又は三親等以内の親族その他のその理事と一定の特殊の関係のある者である理事の合計数が、理事の総数の3分の1を超えてはならない。

5 理事長に異動があったときは、2週間以内に登記し、登記事項証明書等を添え、遅滞なくその旨を認可行政庁に届け出なければならない。

(理事の職務及び権限)

第25条 理事は理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 理事長は、会社を代表し、その業務を執行する。

3 専務理事は、理事長を補佐し、会社の業務を執行する。

4 理事長及び専務理事は、毎事業年度毎に4ヶ月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第26条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、公社の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(任期)

第27条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4 理事又は監事は、第23条第1項に定める定数に足りなくなるときは、辞任又は任期満了後においても、新たに選任された者が就任するまでは、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(報酬等)

第28条 理事及び監事に対して、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

2 理事及び監事には、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。

第7章 理事会

(構成)

第29条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第30条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) 公社の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長及び専務理事の選定及び解職

(招集)

第31条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的である事項を記載した書面をもって、開催日の5日前までに、各理事及び各監事に対して通知しな

なければならない。

(決議)

第32条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

(決議の省略)

第33条 理事が、理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、その提案について、議決に加わることのできる理事の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。ただし、監事が異議を述べたときは、その限りではない。

(報告の省略)

第34条 理事又は監事が理事及び監事の全員に対し、理事会に報告すべき事項を通知したときは、その事項を理事会に報告することを要しない。

2 前項の規定は、第25条第4項に規定する報告には適用しない。

(議事録)

第35条 理事会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成しなければならない。

2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

(理事会運営規則)

第36条 理事会の運営に関し必要な事項は、法令又はこの定款に定めるもののほか、理事会において定める理事会運営規則による。

第8章 定款の変更及び解散等

(定款の変更)

第37条 この定款は、評議員会の決議によって変更することができる。

2 前項の規定は、この定款の第3条及び第4条並びに第11条についても適用する。

(解散)

第38条 公社は、基本財産の滅失によるこの会社の目的である事業の成功の不能その他法令で定められた事由によって解散する。

(残余財産の帰属)

第39条 公社が清算をする場合において有する残余財産は、評議員会の決議

を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第9章 公告の方法

(公告の方法)

第40条 公社の公告は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

附 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第121条第1項において読み替えて準用する同法第106条第1項に定める一般財団法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第121条第1項において読み替えて準用する第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と、一般財団法人の設立の登記を行ったときは、第6条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。
- 3 公社の最初の理事長は、肥塚光志とする。
- 4 公社の最初の評議員は、別紙評議員名簿に掲げる者とする。

別表 基本財産

定期預金 11,000,000円

別紙

一般財団法人下関市公営施設管理公社評議員名簿

区分	氏名
評議員	吉川 宗利
評議員	高山 剛
評議員	近藤 洋平
評議員	森 邦恵
評議員	小野 哲

一般財団法人 下関市公営施設管理公社 役員名簿

平成25年8月1日現在

役職名	氏名	備考 〔所属団体役職名〕	勤務形態
1 理事長	肥塚光志	下関市(元都市整備部政策調整監)	常勤
2 専務理事	田川博幸	下関市(元契約室長)	常勤
3 理事	松崎淳志	下関市総務部長	非常勤
4 理事	久保正昭	下関市観光交流部長	非常勤
5 理事	石津文秀	山口県国際総合センター常務理事・ 下関市(元下関市役所川中支所長)	非常勤
6 理事	来島あゆり	下関商工会議所総務課長	非常勤
7 監事	中村文昭	下関市会計管理者	非常勤
8 監事	岡田健	税理士法人維新税理士	非常勤
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			

平成 24 年 度

財団法人 下関市公営施設管理公社

事 業 報 告 書

収 支 決 算 書

財団法人 下関市公営施設管理公社

目 次

総括	1
1. 事業概要 2. 理事会 3. 役員の異動 4. 最初の評議員選定委員会	
5. 一般財団法人移行に関する事項	
事業報告書	3
貸借対照表	8
正味財産増減計算書	9
貸借対照表内訳表	11
正味財産増減計算書内訳表	13
財務諸表に対する注記	15
附属明細書	16
財産目録	17
収支計算書	18
収支計算書に対する注記	20
収支計算書総括表	21
1. 一般会計収支計算書・一般会計事業費内訳書 2. 満珠荘特別会計 3. 売店特別会計	
4. 駐車場特別会計 5. 自主事業特別会計 6. サングリーン菊川特別会計 7. 福利厚生事業特別会計	
監査報告	34
平成24年度 利用状況表	35

総 括

1. 事業概要

- (1) 役員10名(理事長1、専務理事1、理事6、監事2)と、職員59名、嘱託職員28名、日々雇用職員をもって業務を実施した。
- (2) 事業規模は、一般会計15事業15事業所、特別会計3事業3事業所で合計18事業18事業所を管理運営した。
- (3) 公益法人制度改革に伴い、一般財団への移行認可申請を行い平成25年3月19日に認可を得た。
- (4) 指定管理者制度の趣旨を理解し、公益事業として施設管理、利用者に対する更なるサービス向上と経費節減への取組を実施した。
- (5) 各事業所においては、積極的に自主事業を展開し、施設の知名度向上を図るとともに、利用増加に努め、全体的に利用者増に繋げた。
- (6) 市内で開催された研修会やイベントにも積極的に参加し、公社職員としての資質向上に努めた。
- (7) 下関運動公園内7体育施設及び下関市フットサル場とサングリーン菊川・下関市菊川温泉プールの2件の指定管理者の募集に応募しすべて指定された。

2. 理事会

年 月 日	件 名	議 決 年 月 日
平成24年4月2日	財団法人下関市公営施設管理公社専務理事の選出について	平成24年4月2日
平成24年5月24日	平成23年度財団法人下関市公営施設管理公社事業報告及び収支計算並びに財産目録の認定 最初の評議員選定委員会委員の選任について 最初の評議員候補者の選任について	平成24年5月24日
平成24年6月27日	平成24年度財団法人下関市公営施設管理公社一般会計補正予算 平成24年度下関市満珠荘特別会計補正予算 財団法人下関市公営施設管理公社自主事業特別会計新設について 最初の評議員選定委員会委員の選任について 最初の評議員候補者の選定について 最初の理事・監事候補者の選定について 最初の理事長の選任について 最初の専務理事の選任について	平成24年6月27日
平成24年7月18日	推薦した最初の評議員候補者の交代について	平成24年7月18日
平成24年10月24日	定款の変更の案について 一般財団法人への移行認可申請について	平成24年10月24日
平成24年11月30日	平成24年度自主事業特別会計補正予算について	平成24年11月30日
平成25年1月30日	平成24年度売店特別会計補正予算について 平成24年度サングリーン菊川特別会計の新設について	平成25年1月30日
平成25年3月18日	平成24年度売店特別会計補正予算について 平成24年度サングリーン菊川特別会計補正予算について 平成25年度財団法人下関市公営施設管理公社事業計画及び収支予算	平成25年3月18日
平成25年3月29日	平成24年度財団法人下関市公営施設管理公社一般会計補正予算	平成25年3月29日

3. 役員の異動

理			事		
新 任			辞 任		
年 月 日	現 職	氏 名	年 月 日	現 職	氏 名
平成24年4月1日	管理公社専務理事	田 川 博 幸	平成24年4月30日	下関市財政部長	田 林 信 哉
平成24年4月1日	下関市観光交流部長	久 保 正 昭	平成25年3月21日	下関市財政部長	片 山 良 太
平成24年5月1日	下関市財政部長	片 山 良 太	平成25年3月21日	下関市環境部長	森 本 裕 之
平成25年3月22日	山口県国際総合センター常務理事	石 津 文 秀	平成25年3月21日	下関市産業経済部長	三 木 潤 一
平成25年3月22日	下関商工会議所総務課長	来 島 あ ゆ り	平成25年3月21日	下関市教育部長	西 岡 輝 昭

監			事		
新 任			辞 任		
年 月 日	現 職	氏 名	年 月 日	現 職	氏 名
平成24年4月1日	下関市議会議務局長	中 西 安 春	平成25年3月21日	下関市議会議務局長	中 西 安 春
平成24年4月1日	下関市会計管理者	中 村 文 昭			
平成25年3月22日	税理士法人維新 税理士	岡 田 健			

4. 最初の評議員選定委員会

年 月 日	件 名	議 決 年 月 日
平成24年8月10日	議長選出の件 最初の評議員選任の件	平成24年8月10日

5. 一般財団法人移行に関する事項

年 月 日	申 請 ・ 認 可 事 項	備 考
平成24年11月13日	一般財団法人移行認可申請	山口県
平成25年3月19日	一般財団法人への移行認可	山口県
平成25年4月1日	一般財団法人下関市公営施設管理公社設立登記	

事業報告書

平成24年度(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

1. 実施事業等会計

(1) 事業概要

ア. 一般財団法人へ移行することに伴い、公益目的財産額を計画的に支出する計画を作成し、下関市満珠荘において実施事業として実施した。

(2) 事業実績

	講座名	期間	参加人数
1	作ろう！お正月 しめ縄とミニ門松	平成24年12月27日(木)	16名
2	邦窯の陶芸教室	平成25年1月～3月 第2、第4火曜日	延べ18名
3	プリザーブドフラワー・アレンジメント講座	平成25年1月～3月 毎月 第3土曜日	延べ15名

2. その他会計

施設管理(本社を除く指定管理及び受託事業)

(1) 事業概要

- ア. 指定管理事業及び業務受託事業の14事業を実施した。
- イ. 指定管理者制度の趣旨を理解し、公益事業として施設管理、利用者に対する更なるサービス向上と経費節減への取組を実施した。
- ウ. 主管課への報告・提出書類等常に迅速に処理を行い、揺るぎない信頼関係を構築するために努力をした。
- エ. 公金の管理及び指定管理料・受託料の執行については透明性を持ち厳正に処理した。
- オ. 職員の資質向上のため各種講習会及び研修に積極的に参加した。

(2) 事業実績

- ア. 事業の実施にあたっては、効率的な運営に努めた。
- イ. 平成24年度に実施された下関市の指定管理者募集に応募(2件)し、2件とも指定された。

満珠荘

(1) 事業概要

- ア. 平成23年10月4日付で下関市より指定管理者として指定を受け、平成24年2月25日より多くの市民の方が気軽に利用でき、健康増進や休養で利用していただく施設として、健全な運営を実施した。
- イ. 職員6名(支配人1・副支配人2・料理長1・副料理長1・職員1)、嘱託職員2名及び日々雇用職員をもって業務を実施した。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 平成24年度実績は、宿泊者4,703人、浴場利用者33,147人となり、当初計画を若干下回った。
- イ. 下関市と連携を図り、多くの市民の方が気軽に利用できる施設として、浴場利用者、宿泊者の方が安心・安全に利用できるよう管理運営に努めた。
- ウ. 市内、市外の多くのお客様にご利用頂くために、「ふくコース」等の宿泊プランの企画及び実施、日帰り入浴スタンプカードの発行を実施し、リピーターの確保に努めた。
- エ. レストラン営業に際し、地元食材を活用したメニューの開発、食材の確保、食器仕入れ、サービス提供等を図り、リピーターの確保に努めた。また、衛生管理マニュアルに基づき、安全・安心かつ高品質の食事の提供に努めた。

- オ. ラウンジの空きスペースを利用し、下関をテーマとした「写真展」、海峡一望の立地を活かした「帆船模型展」等を開催し、施設のPRを含め、利用者の方によりご満足いただける自主事業の実施に努めた。また、陶芸教室、ブリザーブドフラワー教室を実施し、多目的室の効率的な利用に努めた。
- カ. テレビ、新聞、情報誌等へ積極的に情報提供を行い、施設のPR及び利用者の確保に努めた。
- キ. 所轄の消防署と連携を図り、自主避難訓練を実施し、安全・安心な施設管理に努めた。
- ク. 客室に用意しているアンケートを活用し、お客様の要望や意見の把握に努め、運営の参考とするよう努めた。

(3) 設備管理の実施状況

- ア. 館内の衛生確保のための清掃、ねずみ・昆虫等防除、浄化槽維持管理は専門業者へ業務委託により実施した。また、職員と設備管理経験を有するアルバイトにより機械設備の日常の保守点検も併せて実施した。
- イ. 人身事故・火災・盗難等を未然に防ぐため、職員による館内の巡視点検を行いお客様の安全確保に努めた。事故や災害が発生した場合の緊急対応マニュアルと連絡網を備え、即時対応できるよう努めた。

(4) 事業実績

- ア. 利用者数 37,850人
- イ. 営業日数 360日（法定点検による休業5日）

売店

(1) 事業概要

- ア. 職員2名及び嘱託職員1名をもって、長府庭園売店、下関市ふれあい健康ランド売店及び菊川温泉プールの3店舗を独立採算で運営を行った。

(2) 管理運営の実施状況

- ア. 施設の特色や四季折々に合わせた商品構成、商品レイアウトの変更を行い、利用者の購買意欲を高めることに努めた。
- イ. 施設のオリジナル商品（孫文蓮コースターやココロもカラダも生きカエルタオル）の販売を行い、施設の広報宣伝を行った。
- ウ. 長府庭園売店では、売店入口に常に季節の花を生け、おもてなしの心を大切に接客を心がけた。孫文蓮鑑賞会の開催時に合わせ、蓮茶や蓮うどんといった関連商品の販売はもとより、蓮茶試飲と茶菓の接待を行い、蓮茶の効能を説明し売り上げ増進に努めた。なお、人気のある蓮茶は、年間を通じて販売を行った。また、一の蔵での展示利用者から商品を受託し、販売を行った。各種観光キャンペーン等に協力し、利用者へのサービス向上を図った。
10月13日の無料開放日に「多肉植物の販売」等を開催し、利用者へのサービス向上にも努めた。
- エ. 下関市ふれあい健康ランド売店では、地元で収穫される新鮮野菜や新米等を生産者から受託のうえ店頭販売を行い、地元産の高品質を利用者へ周知するとともに売上の増額に努めた。施設が行った消防訓練（4月及び12月）と普通救命講習にも参加し、利用者の安全確保を目的に技術の向上に努めた。
7月7日、8日の2日間「ちびっこフェスタ 福引付クレーンゲームに挑戦」を開催し、利用者へのサービス向上にも努めた。
- オ. 各店舗では商品の品質管理に注意するとともに、常に利用者ニーズの把握に努め、新商品の販売や委託商品での販売促進を行った。
- カ. 下関市内の各公民館や公共施設に清涼飲料水やアイスクリームの自動販売機を設置し、利用者への利便性の確保に努めた。
- キ. 火の山展望台に望遠鏡を、また、下関市ふれあい健康ランドにマッサージ機を設置し、利用者へのサービス向上に努めた。
- ク. 店舗等の売上金やつり銭準備金については、毎日の集計及び帳票作成等、適正かつ厳正に取り扱い処理を行った。

(3) 事業実績

ア. 販売手数料収入	3,433,929 円
イ. 手数料収入	5,323,019 円
ウ. 遊戯機使用料収入	422,818 円
エ. 売店事業収入	443,702 円
オ. 実費弁償金収入	1,418,494 円

自主事業

(1) 事業概要

- ア. 下関市ふれあい健康ランドにおいて介護予防教室に係わる自主事業を実施した。
- イ. 長府毛利邸において抹茶接待及びオリジナルカレンダー販売に関する自主事業を実施した。

(2) 事業実績

ア. 下関市ふれあい健康ランド

	講座名	期間	参加人数
1	介護予防教室「プール元気教室」	平成24年6月7日～平成24年10月25日 毎週木曜日（※8月16日除く）全20回	延べ265名

イ. 長府毛利邸

	自主事業名	期間	利用人数
1	抹茶接待	平成24年4月1日～平成25年3月31日	5,517名
2	オリジナルカレンダーの販売	平成24年10月19日～平成25年1月31日	311部

サングリーン

(1) 事業概要

- ア. 下関市より、下関市営宿舍サングリーン菊川及び下関市菊川温泉プールの指定管理者として指定を受けたことに伴い開業準備業務を実施した。

(2) 事業実績

- ア. 下関市営宿舍サングリーン菊川の開業に向け、行政機関へ旅館業の申請を実施し認可を得た。
- イ. 従前の指定管理者より送迎用マイクロバス2台及び小型乗用車1台を購入した。

駐車場

(1) 事業概要

- ア. 山口県下関土木建築事務所から道路用地を借り受け、月極駐車場を営業した。
- イ. 職員による定期的な巡回点検を行い、場内清掃や植栽の剪定等を実施した。

(2) 事業実績

- ア. 関彦橋駐車場、筋川駐車場、迫町駐車場の3箇所合計の契約台数91台
- イ. 駐車料金売上 5,950,540円
雑収入（車庫証明） 1,200円

3. 法人会計

本社費

(1) 事業概要

- ア. 常勤役員 理事長1名、専務理事1名
- イ. 職員5名（事務局長1名・課長1名・副主任3名）をもって業務を実施した。

(2) 事業実績

- ア. 一般財団法人への移行認可に向けて、下関市と連絡調整を図り理事会や最初の評議員選定委員会を開催した。また、公認会計士や司法書士の指導のもと、定款など法人移行に必要な申請書類を作成し、山口県知事へ提出のうえ一般財団としての認可書を受領した。
- イ. 下関市との指定管理に伴う協定締結、業務委託に伴う受託契約の締結を行い、各施設の事業計画、収支予算案等の策定及び事業報告、収支決算等の書類を作成した。
- ウ. 職員の人事・給与・福利厚生に関することを一括管理した。
- エ. 全事業所の消耗品購入・第三者委託契約を管理し、複数事業所で共通するものは一括入札を行い、経費の節減に努めた。
- オ. プールを有する事業所責任者1名と中堅職員1名をプール衛生管理者講習会に参加させた。
- カ. 山口県が主催する公益法人制度改革に関する説明会へ参加し、一般財団法人への移行申請手続及び移行後の事務手続き等を習得した。
- キ. 必要に応じて責任者会議を開催し、各事業所への指導及び連絡調整を実施した。
- ク. 下関市が募集した2つの指定管理施設の応募書類等を作成したところ、指定管理者として指定を受けた。それにより、管理運営の開始に伴う準備業務を行った。
- ケ. 下関市からの出資法人として、下関市監査委員会の監査に伴う書類作成などの対応を行い、改善等を要する事項については改善実施及び精査を行った。
- コ. 下関市が策定する「しものせきエコマネジメントプラン」に基づき、本社にて使用する光熱水費の削減や、グリーンマーク商品の積極的な購入を通して環境配慮及び環境保全に努めた。

福利厚生事業

(1) 事業概要

- ア. 「高年齢者多数雇用奨励金」を財源とした事業で、職員の福利厚生、勤労意欲の増進、奨励を主な目的に事業を実施した。

(2) 事業実績

- ア. 公社職員の福利厚生及び親睦と融和に努めた。
- イ. 職員の福利厚生を目的に、人間ドック助成事業を行い受診者に助成を行った。
- ウ. 日本電信電話ユーザ協会が主催する「電話対応研修」に職員2名を参加させた。

財務諸表及び附属明細書 並びに財産目録

貸 借 対 照 表
正味財産増減計算書
貸借対照表内訳表
正味財産増減計算書内訳表
財務諸表に対する注記
附 属 明 細 書
財 産 目 録
収 支 計 算 書

貸借対照表

平成25年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金・小口現金	1,458,833	595,143	863,690
普通預金	43,596,490	55,829,126	△ 12,232,636
定期預金	16,000,000	22,000,000	△ 6,000,000
つり銭準備金	2,522,000	1,954,000	568,000
未収金	613,076	1,410,269	△ 797,193
商品	37,084	25,592	11,492
原材料	669,989	942,148	△ 272,159
売掛金	196,000		196,000
貯蔵品	143,659	362,718	△ 219,059
流動資産合計	65,237,131	83,118,996	△ 17,881,865
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	11,000,000	11,000,000	0
基本財産合計	11,000,000	11,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	57,837,374	46,670,410	11,166,964
特定資産合計	57,837,374	46,670,410	11,166,964
(3) その他固定資産			
車両運搬具	2	2	0
什器備品	7	7	0
建物附帯設備	5,634,978	6,764,677	△ 1,129,699
機械装置	2,274,866	3,311,304	△ 1,036,438
その他固定資産合計	7,909,853	10,075,990	△ 2,166,137
固定資産合計	76,747,227	67,746,400	9,000,827
資産合計	141,984,358	150,865,396	△ 8,881,038
II 負債の部			
1 流動負債			
買掛金	1,792,443	2,282,103	△ 489,660
未払金	36,856,752	42,102,375	△ 5,245,623
前受金	1,965,300		1,965,300
賞与引当金	1,491,100		1,491,100
預り金	252,591		252,591
法人税充当金	71,000	71,000	0
流動負債合計	42,429,186	44,455,478	△ 2,026,292
2 固定負債			
退職給付引当金	58,077,824	46,670,410	11,407,414
固定負債合計	58,077,824	46,670,410	11,407,414
負債合計	100,507,010	91,125,888	9,381,122
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	41,477,348	59,739,508	△ 18,262,160
(うち特定資産への充当額)	(11,000,000)	(11,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	41,477,348	59,739,508	△ 18,262,160
負債及び正味財産合計	141,984,358	150,865,396	△ 8,881,038

正味財産増減計算書
平成25年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	(12,133)		
定期預金受取利息	12,133		
② 事業収益	(574,834,830)		
指定管理・運営受託収入	467,761,000		
施設事業収益	88,167,728		
売店事業収益	11,041,962		
駐車場事業収益	5,950,540		
介護予防事業収入	360,000		
飲食料収入	1,299,600		
商品販売収入	155,500		
受講料収入	98,500		
④ 雑収益	(385,624)		
受取利息	61,628		
雑収入	323,996		
経常収益合計	575,232,587		
(2) 経常費用			
① 事業費	(559,988,655)		
報酬	44,386,900		
給料	143,714,146		
手当	73,966,056		
共済費	38,640,848		
賞与引当金繰入額	1,491,100		
退職給付費用	16,918,214		
賃金	28,838,890		
報償費	273,800		
旅費	1,500,279		
減価償却費	2,166,137		
消耗品費	10,981,775		
燃料費	64,112		
印刷製本費	4,095,577		
光熱水費	60,794,814		
修繕料	8,242,388		
通信運搬費	1,758,685		
広告料	840,400		
手数料	2,739,398		
保険料	1,171,350		
委託料	68,846,535		
使用料及び賃借料	7,260,736		
原材料費	20,433,321		
行事費	69,870		
備品購入費	1,908,422		
負担金	230,850		
公課費	16,682,623		
商品仕入	1,193,673		
雑費	258		
本社費	777,498		
③ 管理費	(33,506,092)		
報酬	5,369,510		
給料	9,538,057		
手当	5,968,233		
共済費	3,031,000		
退職給付費用	1,313,123		
報償費	13,200		
旅費	60,392		
交際費	45,000		
福利厚生費	39,400		
消耗品費	475,552		
燃料費	125,109		
印刷製本費	21,168		
光熱水費	495,353		
修繕料	13,755		
通信運搬費	366,483		
手数料	822,655		

正味財産増減計算書
平成25年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
保険料	103,980		
委託料	3,064,180		
使用料及び賃借料	1,096,183		
備品購入費	64,575		
負担金	178,600		
公課費	1,300,584		
経常費用合計	593,494,747		
当期経常増減額	△ 18,262,160		
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
その他経常外収益	(0)		
経常外収益合計	0		
(2) 経常外費用			
その他経常外費用	(0)		
経常外費用合計	0		
当期経常外増減額	0		
当期一般正味財産増減額	△ 18,262,160		
一般正味財産期首残高	59,739,508		
一般正味財産期末残高	41,477,348		
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高	41,477,348		

※ 当事業年度から、「公益法人会計基準」(平成20年4月11日、平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を適用している。なお「公益法人会計基準」の運用指針(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)附則「公益法人会計基準を適用する際の経過措置 1. 適用初年度における前事業年度の財務諸表の記載について」により前年度の数値を記載していない。

科 目	実施事業等会計	その他会計			
		施設管理	満珠荘	売店	駐車場
I 資産の部					
1 流動資産					
現金預金			756,599	180,234	6,000
現金・小口現金					
普通預金	17,890,098		5,131,602	7,848,876	1,040,304
定期預金				15,000,000	
つり銭準備金	1,621,000		331,000	284,000	
未収金			41,333	556,867	5,000
商品			37,084		
原材料			669,989		
売掛金			196,000		
貯蔵品			48,825	94,834	
流動資産合計	0	19,511,098	7,212,432	23,964,811	1,051,304
2 固定資産					
(1) 基本財産					
定期預金					
基本財産合計	0	0	0	0	0
(2) 特定資産					
退職給付引当資産					
特定資産合計	0	0	0	0	0
(3) その他固定資産					
車両運搬具					
什器備品				5	
建物附帯設備			5,634,978		
機械装置			2,274,866		
貸付金				31,757,000	
その他固定資産合計	0	0	7,909,844	31,757,005	0
固定資産合計	0	0	7,909,844	31,757,005	0
資産合計	0	19,511,098	15,122,276	55,721,816	1,051,304
II 負債の部					
1 流動負債					
買掛金			1,792,443		
未払金	19,511,098		6,593,531	1,111,656	233,333
前受金					610,000
賞与引当金			997,300	451,400	42,400
預り金			10,803	3,654	1,298
法人税充当金			35,500	35,500	
流動負債合計	0	19,511,098	9,429,577	1,602,210	887,031
2 固定負債					
退職給付引当金			240,450		
借入金			30,757,000		
固定負債合計	0	0	30,997,450	0	0
負債合計	0	19,511,098	40,427,027	1,602,210	887,031
III 正味財産の部					
1 指定正味財産					
指定正味財産合計	0	0	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)		
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		
2 一般正味財産	0	0	△ 25,304,751	54,119,606	164,273
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)		
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		
正味財産合計	0	0	△ 25,304,751	54,119,606	164,273
負債及び正味財産合計	0	19,511,098	15,122,276	55,721,816	1,051,304

正味財産増減計算書内訳表

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科 目	実施事業会計	その他会計							法人会計			内部取引消去	合計	
	実施事業	施設管理	満珠荘	売店	駐車場	自主事業	サングリーン	小計	本社費	福利厚生事業	小計			
I 一般正味財産増減の部														
1 経常増減の部														
(1) 経常収益														
① 基本財産運用益										(12,133)		(12,133)		(12,133)
定期預金受取利息										12,133		12,133		12,133
② 事業収益	(98,500)	(467,761,000)	(88,167,728)	(11,041,962)	(5,950,540)	(1,815,100)	(0)	(574,736,330)						(574,834,830)
指定管理・運営受託収入		467,761,000						467,761,000						467,761,000
施設事業収益			88,167,728					88,167,728						88,167,728
売店事業収益				11,041,962				11,041,962						11,041,962
駐車場事業収益					5,950,540			5,950,540						5,950,540
介護予防事業収入						360,000		360,000						360,000
飲食料収入						1,299,600		1,299,600						1,299,600
商品販売収入						155,500		155,500						155,500
受講料収入	98,500							0						98,500
③ 本社管理費収入								0	(32,677,000)		(32,677,000)	(△ 32,677,000)		0
本社管理費収入								0	32,677,000		32,677,000	△ 32,677,000		0
④ 雑収益			(1,288)	(336,202)	(1,381)	(34)	(9,880)	(348,785)	(35,956)	(883)	(36,839)			(385,624)
受取利息			1,288	23,282	181	34	4	24,789	35,956	883	36,839			61,628
雑収入			0	312,920	1200	0	9876	323,996	0					323,996
経常収益合計	98,500	467,761,000	88,169,016	11,378,164	5,951,921	1,815,134	9,880	575,085,115	32,725,089	883	32,725,972	△ 32,677,000		575,232,587
(2) 経常費用													(△ 32,677,000)	(559,988,655)
① 事業費	(633,186)	(467,761,000)	(105,839,699)	(12,651,053)	(3,387,648)	(1,768,379)	(624,690)	(592,032,469)						44,386,900
報酬		37,178,800	4,191,900	1,590,000	1,426,200			44,386,900						143,714,146
給料	379,230	127,370,038	12,261,770	3,703,108	0			143,334,916						73,966,056
手当	122,904	62,882,284	8,815,573	2,050,049	95,246			73,843,152						38,640,848
共済費	25,338	33,131,215	4,197,642	1,066,356	220,297			38,615,510						1,491,100
賞与引当金繰入額			997,300	451,400	42,400			1,491,100						16,918,214
退職給付費用	7,214	16,677,764	233,236					16,911,000						28,838,890
賞金		12,030,090	16,808,800					28,838,890						273,800
報償費	28,800		70,000			175,000		245,000						1,500,279
旅費		923,195	486,300	81,104		9,680		1,500,279						2,166,137
減価償却費			2,166,137					2,166,137						10,981,775
消耗品費		7,704,684	2,596,790		26,827	651,584	1,890	10,981,775						64,112
燃料費			52,513			11,599		64,112						4,095,577
印刷製本費		3,806,932	288,645					4,095,577						60,794,814
光熱水費		43,722,971	15,280,012	1,512,512	279,319			60,794,814						8,242,388
修繕料		8,224,538			17,850			8,242,388						1,758,685
通信運搬費		1,289,796	385,654		82,500	735		1,758,685						840,400
広告料		80,870	646,820			112,710		840,400						2,739,398
手数料		2,125,076	539,072		2,315	11,570		2,739,398						1,171,350
保険料		618,290	153,210		16,080	34,500	349,270	1,171,350						68,846,535
委託料		60,351,409	8,421,626		73,500			68,846,535						7,260,736
使用料及び賃借料		1,536,020	4,221,551	753,261	674,224	75,680		7,260,736						20,433,321
原材料費	69,700	153,268	20,210,353					20,363,621						69,870
行事費		69,870						69,870						1,908,422
備品購入費		530,754	956,153		217,350		204,165	1,908,422						230,850
負担金		172,350				50,500	8,000	230,850						16,682,623
公課費		14,503,786	1,602,712	357,294	213,540	5,291		16,682,623						1,193,673
商品仕入			255,930	308,213		629,530		1,193,673						258
雑費				258				258						△ 32,677,000
本社費		32,677,000		777,498				33,454,498						777,498

③ 管理費		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(32,725,089)	(781,003)	(33,506,092)		(33,506,092)
報酬									5,369,510		5,369,510		5,369,510
給料									9,538,057		9,538,057		9,538,057
手当									5,968,233		5,968,233		5,968,233
共済費									3,031,000		3,031,000		3,031,000
退職給付費用									1,313,123		1,313,123		1,313,123
報償費									13,200		13,200		13,200
旅費									36,448	23,944	60,392		60,392
交際費									45,000		45,000		45,000
福利厚生費									0	39,400	39,400		39,400
消耗品費									475,552		475,552		475,552
燃料費									125,109		125,109		125,109
印刷製本費									21,168		21,168		21,168
光熱水費									495,353		495,353		495,353
修繕料									0	13,755	13,755		13,755
通信運搬費									298,985	67,498	366,483		366,483
手数料									640,329	182,326	822,655		822,655
保険料									0	103,980	103,980		103,980
委託料									3,064,180		3,064,180		3,064,180
使用料及び賃借料									856,183	240,000	1,096,183		1,096,183
備品購入費									64,575		64,575		64,575
負担金									104,600	74,000	178,600		178,600
公課費									1,264,484	36,100	1,300,584		1,300,584
経常費用合計	633,186	467,761,000	105,839,699	12,651,053	3,387,648	1,768,379	624,690	592,032,469	32,725,089	781,003	33,506,092	△ 32,677,000	593,494,747
当期経常増減額	△ 534,686	0	△ 17,670,683	△ 1,272,889	2,564,273	46,755	△ 614,810	△ 16,947,354	0	△ 780,120	△ 780,120	0	△ 18,262,160
2 経常外増減の部													
(1) 経常外収益													
その他経常外収益			(0)	(0)					(0)		(0)		(0)
経常外収益合計		0	0	0					0	0	0		0
(2) 経常外費用													
その他経常外費用		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)		(0)		(0)
経常外費用合計		0	0	0	0	0	0	0	0		0		0
当期経常外増減額		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
他会計振替額	534,686		1,865,314		△ 2,400,000			△ 534,686					0
当期一般正味財産増減額	0	0	△ 15,805,369	△ 1,272,889	164,273	46,755	△ 614,810	△ 17,482,040	0	△ 780,120	△ 780,120	0	△ 18,262,160
一般正味財産期首残高	0	0	△ 9,499,382	55,392,495	0	0	0	45,893,113	11,000,000	2,846,395	13,846,395	0	59,739,508
一般正味財産期末残高	0	0	△ 25,304,751	54,119,606	164,273	46,755	△ 614,810	28,411,073	11,000,000	2,066,275	13,066,275	0	41,477,348
II 指定正味財産増減の部													
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	0	0	△ 25,304,751	54,119,606	164,273	46,755	△ 614,810	28,411,073	11,000,000	2,066,275	13,066,275	0	41,477,348

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

当会計年度より、「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を適用している。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法は最終仕入原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定率法による。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金 翌期支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。（売店、満珠荘、駐車場）
退職給付引当金 役員、職員の退職給付に備えるため。

(4) 消費税等の会計処理

税込方式による

3. 会計方針の変更

費用勘定科目を公益法人会計基準に沿って細かく変更した。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	11,000,000	0	0	11,000,000
小 計	11,000,000	0	0	11,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	46,670,410	22,450,724	11,283,760	57,837,374
小 計	46,670,410	22,450,724	11,283,760	57,837,374
合 計	57,670,410	22,450,724	11,283,760	68,837,374

※当期増加額22,450,724円のうち4,459,837円は平成23年度未払い処理した金額である。

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定正味財産からの 充当額）	（うち一般正味財産からの 充当額）	（うち負債に対応する 額）
基本財産				
定期預金	11,000,000	(0)	(11,000,000)	—
小 計	11,000,000	0	(11,000,000)	—
特定資産				
退職給付引当資産	57,837,374	(0)	(0)	(57,837,374)
小 計	57,837,374	0	(0)	(57,837,374)
合 計	68,837,374	0	(11,000,000)	(57,837,374)

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	1,998,000	1,997,998	2
什器備品	2,131,000	2,130,993	7
建物附帯設備	6,958,350	1,323,372	5,634,978
機械装置	3,493,550	1,218,684	2,274,866
合 計	14,580,900	6,671,047	7,909,853

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、「財務諸表に対する注記」に記載しているため省略する。

2. 引当金の明細

(1) 賞与引当金

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	0	1,491,100	0	0	1,491,100

(2) 退職給付引当金

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	46,670,410	22,691,174	11,283,760	0	58,077,824

※当期増加額22,691,174円の中に平成23年度に引当処理すべき金額4,459,837円を含む。

財 産 目 録

平成25年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金預金	現金・小口現金	運転資金として	1,458,833
		普通預金		
		山口銀行 本店	運転資金として	41,826,521
		山口銀行 新下関駅前支店	運転資金として	202,201
		山口銀行 長府支店	運転資金として	1,260,084
		山口銀行 田部支店	運転資金として	307,684
	定期預金	山口銀行 本店	運転資金として	1,000,000
		西中国信用金庫 下関市役所出張所	運転資金として	15,000,000
		つり銭準備金		2,522,000
		未収金		613,076
商品			37,084	
原材料		料理用食材等	669,989	
売掛金			196,000	
貯蔵品			143,659	
流動資産合計				65,237,131
(固定資産)				
基本財産		定期預金		
		西中国信用金庫 下関市役所出張所		11,000,000
特定資産	退職給付引当資産	定期預金		
		西中国信用金庫 下関市役所出張所		28,178,910
		山口銀行 本店		18,574,577
その他固定資産		普通預金		
		山口銀行 本店		11,083,887
		車両運搬具	車両運搬具2台	2
		什器備品費	望遠鏡、ショーケース等	7
	建物附帯設備	下関市満珠荘	厨房等の給排水設備	5,634,978
	機器装備	下関市満珠荘	厨房の機械装置	2,274,866
固定資産合計				76,747,227
資産合計				141,984,358
(流動負債)				
	買掛金 未払金 前受金 預り金 賞与引当金 法人税充当金		食材、飲料等	1,792,443
			委託料等の業者支払	36,856,752
			平成25年度分受講料等	1,965,300
			給与手当に係る雇用保険	252,591
			当会計年度に帰属する額	1,491,100
			平成24年度法人税納付のため	71,000
		流動負債合計		
(固定負債)				
	退職給付引当金		役職員に対する退職金の 支払に備えたもの	58,077,824
固定負債合計				58,077,824
負債合計				100,507,010
正味財産				41,477,348

収 支 計 算 書
平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
大科目 中科目				
1. 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	(12,000)	(12,133)	(△ 133)	
基本財産利息収入	12,000	12,133	△ 133	
② 事業収入	(609,569,000)	(574,834,830)	(34,734,170)	
施設管理・運営受託事業収入	472,283,000	467,761,000	4,522,000	
満珠荘事業収益	115,064,000	88,167,728	26,896,272	
売店事業収益	13,712,000	11,041,962	2,670,038	
駐車場事業収入	6,024,000	5,950,540	73,460	
介護予防事業収入	360,000	360,000	0	
飲食料収入	1,680,000	1,299,600	380,400	
商品販売収入	270,000	155,500	114,500	
受講料収入	176,000	98,500	77,500	
④ 雑収入	(392,000)	(385,624)	(6,376)	
受取利息収入	66,000	61,628	4,372	
雑収入	326,000	323,996	2,004	
事業活動収入計	609,973,000	575,232,587	34,740,413	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出	(575,795,000)	(555,614,747)	(20,180,253)	
事業費支出	575,795,000	555,614,747	20,180,253	
1 報酬	45,313,400	44,386,900	926,500	
2 給料	145,461,038	143,714,146	1,746,892	
3 手当	75,324,284	73,966,056	1,358,228	
4 共済費	39,290,215	38,640,848	649,367	
5 退職給付費用	17,519,764	16,677,764	842,000	
6 賞金	32,570,090	28,838,890	3,731,200	
7 報償費	295,000	273,800	21,200	
8 旅費	2,199,195	1,524,223	674,972	
9 交際費	50,000	0	50,000	
10 福利厚生費	966,000	39,400	926,600	
11 消耗品費	12,203,440	10,757,600	1,445,840	
12 燃料費	217,164	64,112	153,052	
14 印刷製本費	4,144,932	4,095,577	49,355	
15 光熱水費	61,151,581	60,794,814	356,767	
16 修繕料	8,474,998	8,256,143	218,855	
18 通信運搬費	1,859,796	1,826,183	33,613	
19 広告料	772,870	727,690	45,180	
20 手数料	3,253,666	2,921,724	331,942	
21 保険料	1,364,130	1,275,330	88,800	
22 委託料	69,423,409	68,846,535	576,874	
23 使用料及び賃借料	8,553,013	7,500,736	1,052,277	
24 原材料費	22,568,989	20,161,162	2,407,827	
25 行事費	69,870	69,870	0	
26 備品購入費	1,999,154	1,908,422	90,732	
27 負担金	536,850	304,850	232,000	
28 公課費	18,086,617	16,718,723	1,367,894	
29 商品仕入	1,898,825	1,210,539	688,286	
30 広告宣伝費	112,710	112,710	0	
31 予備費	114,000	0	114,000	
③ 管理費支出	(45,307,000)	(44,786,347)	(520,653)	
本社費	34,023,000	33,502,587	520,413	
1 報酬	5,789,510	5,642,510	147,000	
2 給料	9,538,057	9,538,057	0	
3 手当	5,968,233	5,968,233	0	
4 共済費	3,031,000	3,031,000	0	
5 退職給付費用	1,313,123	1,313,123	0	
7 報償費	13,200	13,200	0	
8 旅費	36,448	36,448	0	
9 交際費	105,000	86,369	18,631	
11 消耗品費	704,552	634,248	70,304	
12 燃料費	125,109	125,109	0	
14 印刷製本費	21,168	21,168	0	
15 光熱水費	495,353	495,353	0	
16 修繕料	67,911	0	67,911	
18 通信運搬費	499,985	477,296	22,689	
20 手数料	680,329	642,219	38,110	
21 保険料	30,000	22,830	7,170	
22 委託料	3,064,180	3,064,180	0	
23 使用料及び賃借料	856,183	856,183	0	
25 行事費	141,000	57,902	83,098	
26 備品購入費	94,575	64,575	30,000	
27 負担金	112,600	112,600	0	

収 支 計 算 書
平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
28 公課費	1,335,484	1,299,984	35,500	
退職手当	11,284,000	11,283,760	240	
1 退職手当	11,284,000	11,283,760	240	
事業活動支出計	621,102,000	600,401,094	20,700,906	
事業活動収支差額	△ 11,129,000	△ 25,168,507	14,039,507	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
② 特定資産取崩収入	(11,284,000)	(11,283,760)	(240)	
退職給付引当資産取崩収入	11,284,000	11,283,760	240	
投資活動収入計	11,284,000	11,283,760	240	
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	11,284,000	11,283,760	240	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV その他				
1. 予備費支出				
予備費支出	0	0	0	
予備費支出計	0	0	0	
当期収支差額	155,000	△ 13,884,747	14,039,747	
当期収入合計	621,257,000	586,516,347	34,740,653	
当期支出合計	621,102,000	600,401,094	20,700,906	
前期繰越収支差額	27,873,000	37,333,060	△ 9,460,060	
前期繰越収支差額	27,873,000	37,333,060	△ 9,460,060	
次期繰越収支差額	28,028,000	23,448,313	4,579,687	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金、普通預金、定期預金、つり銭準備金、売掛金、未収金、買掛金、未払金、預り金、前受金、未払法人税を含めている。なお、前期末残高及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金	595,143	1,458,833
普通預金	55,829,126	43,596,490
定期預金	22,000,000	16,000,000
つり銭準備金	1,954,000	2,522,000
売掛金	0	196,000
未収金	1,410,269	613,076
合 計	81,788,538	64,386,399
買掛金	2,282,103	1,792,443
未払金	42,102,375	36,856,752
預り金	0	252,591
前受金		1,965,300
未払法人税等	71,000	71,000
合 計	44,455,478	40,938,086
次期繰越収支差額	37,333,060	23,448,313

収支計算書総括表
平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科 目	一般会計	満珠荘特別会計	売店特別会計	駐車場	自主事業	サングリーン	福利厚生事業	内部取引消去	合計
I 事業活動収支の部									
大科目 中科目									
1. 事業活動収入									
① 基本財産運用収入	(12,133)								(12,133)
基本財産利息収入	12,133								12,133
② 事業収入	(467,761,000)	(88,266,228)	(11,041,962)	(5,950,540)	(1,815,100)	(0)			(574,834,830)
施設管理・運営受託事業収入	467,761,000								467,761,000
満珠荘事業収益		88,167,728							88,167,728
売店事業収益			11,041,962						11,041,962
駐車場事業収入				5,950,540					5,950,540
介護予防事業収入					360,000				360,000
飲食料収入					1,299,600				1,299,600
商品販売収入					155,500				155,500
受講料収入		98,500							98,500
③ 実費弁償金収入						(0)			(0)
実費弁償金収入						0			0
④ 雑収入	(35,956)	(1,288)	(336,202)	(1,381)	(34)	(9,880)	(883)		(385,624)
受取利息収入	35,956	1,288	23,282	181	34		883		61,628
雑収入	0	0	312,920	1,200		9,876			323,996
⑤ 他会計からの繰入金収入	(0)	(2,400,000)						(△ 2,400,000)	(0)
駐車場特別会計からの繰入金収入	0	2,400,000						△ 2,400,000	0
特別会計繰入金	0	2,400,000						△ 2,400,000	0
事業活動収入計	467,809,089	90,667,516	11,378,164	5,951,921	1,815,134	9,880	883	△ 2,400,000	575,232,587
2. 事業活動支出									
① 事業費支出	(435,084,000)	(102,584,156)	(11,427,271)	(3,345,248)	(1,768,379)	(624,690)	(781,003)		(555,614,747)
事業費支出	435,084,000	102,584,156	11,427,271	3,345,248	1,768,379	624,690	781,003		555,614,747
1 報酬	37,178,800	4,191,900	1,590,000	1,426,200					44,386,900
2 給料	127,370,038	12,641,000	3,703,108						143,714,146
3 手当	62,882,284	8,938,477	2,050,049	95,246					73,966,056
4 共済費	33,131,215	4,222,980	1,066,356	220,297					38,640,848
5 退職給付費用	16,677,764								16,677,764
6 賃金	12,030,090	16,808,800							28,838,890
7 報償費		98,800			175,000				273,800
8 旅費	923,195	486,300	81,104		9,680		23,944		1,524,223
10 福利厚生費							39,400		39,400
11 消耗品費	7,704,684	2,372,615		26,827	651,584	1,890			10,757,600
12 燃料費		52,513			11,599				64,112
14 印刷製本費	3,806,932	288,645							4,095,577
15 光熱水費	43,722,971	15,280,012	1,512,512	279,319					60,794,814
16 修繕料	8,224,538			17,850			13,755		8,256,143
18 通信運搬費	1,289,796	385,654		82,500	735		67,498		1,826,183
19 広告料	80,870	646,820							727,690
20 手数料	2,125,076	539,072		2,315	11,570	61,365	182,326		2,921,724
21 保険料	618,290	153,210		16,080	34,500	349,270	103,980		1,275,330
22 委託料	60,351,409	8,421,626		73,500					68,846,535
23 使用料及び賃借料	1,536,020	4,221,551	753,261	674,224	75,680		240,000		7,500,736
24 原材料費	153,268	20,007,894							20,161,162
25 行事費	69,870								69,870
26 備品購入費	530,754	956,153		217,350		204,165			1,908,422
27 負担金	172,350				50,500	8,000	74,000		304,850
28 公課費	14,503,786	1,602,712	357,294	213,540	5,291		36,100		16,718,723
29 商品仕入		267,422	313,587		629,530				1,210,539
30 広告宣伝費					112,710				112,710
② 他会計への繰入金支出				(2,400,000)				(△ 2,400,000)	(0)
特別会計への繰入金支出				2,400,000				△ 2,400,000	0
満珠荘特別会計への繰出金				2,400,000				△ 2,400,000	0
③ 管理費支出	(44,008,849)		(777,498)						(44,786,347)
本社費	32,725,089		777,498						33,502,587
1 報酬	5,369,510		273,000						5,642,510
2 給料	9,538,057								9,538,057

3 手当	5,968,233								5,968,233
4 共済費	3,031,000								3,031,000
5 退職給付費用	1,313,123								1,313,123
7 報償費	13,200								13,200
8 旅費	36,448								36,448
9 交際費	45,000		41,369						86,369
11 消耗品費	475,552		158,696						634,248
12 燃料費	125,109								125,109
14 印刷製本費	21,168								21,168
15 光熱水費	495,353								495,353
18 通信運搬費	298,985		178,311						477,296
20 手数料	640,329								642,219
21 保険料			22,830						22,830
22 委託料	3,064,180								3,064,180
23 使用料及び賃借料	856,183								856,183
25 行事費			57,902						57,902
26 備品購入費	64,575								64,575
27 負担金	104,600		8,000						112,600
28 公課費	1,264,484		35,500						1,299,984
退職手当	11,283,760								11,283,760
1 退職手当	11,283,760								11,283,760
事業活動支出計	479,092,849	102,584,156	12,204,789	5,745,248	1,768,379	624,690	781,003	△ 2,400,000	600,401,094
事業活動収支差額	△ 11,283,760	△ 11,916,640	△ 826,605	206,673	46,755	△ 614,810	△ 780,120	0	△ 25,168,507
II 投資活動収支の部									
1. 投資活動収入									
② 特定資産取崩収入	(11,283,760)								(11,283,760)
退職給付引当資産取崩収入	11,283,760								11,283,760
投資活動収入計	11,283,760	0	0			0	0	0	11,283,760
2. 投資活動支出									
① 固定資産取得支出		(0)							(0)
固定資産取得費	0	0							0
投資活動支出計	0	0	0			0	0	0	0
投資活動収支差額	11,283,760	0	0			0	0	0	11,283,760
III 財務活動収支の部									
1. 財務活動収入									
① 借入金収入		(0)				(1,000,000)		(△ 1,000,000)	0
売店特別会計借入金収入		0				1,000,000		△ 1,000,000	0
財務活動収入計	0	0	0			1,000,000	0	△ 1,000,000	0
2. 財務活動支出									
① 貸付金支出			(1,000,000)					(△ 1,000,000)	0
満珠荘特別会計貸付金支出									0
サングリーン菊川特別会計貸付金支出			1,000,000					△ 1,000,000	0
② 借入金返済									
売店特別会計借入金返済									
財務活動支出計	0	0	1,000,000	0	0	0	0	△ 1,000,000	0
財務活動収支差額	0	0	△ 1,000,000	0	0	1,000,000	0	0	0
IV その他									
1. 予備費支出									
予備費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予備費支出計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期収支差額	0	△ 11,916,640	△ 1,826,605	206,673	46,755	385,190	△ 780,120	0	△ 13,884,747
当期収入合計	479,092,849	90,667,516	11,378,164	5,951,921	1,815,134	1,009,880	883	△ 3,400,000	586,516,347
当期支出合計	479,092,849	102,584,156	13,204,789	5,745,248	1,768,379	624,690	781,003	△ 3,400,000	600,401,094
前期繰越収支差額	0	9,940,897	24,545,772	0	0	0	2,846,391	0	37,333,060
前期繰越収支差額	0	9,940,897	24,545,772	0	0	0	2,846,391	0	37,333,060
次期繰越収支差額	0	△ 1,975,743	22,719,167	206,673	46,755	385,190	2,066,271	0	23,448,313

収 支 計 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科 目 大科目 中科目 小科目	予 算 額			決算額	差 異	備 考
	当初予算額	補正・流用額	合計			
I 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
① 基本財産運用収入	(12,000)		(12,000)	(12,133)	(△ 133)	
基本財産利息収入	12,000		12,000	12,133	△ 133	
1 定期預金利息	12,000		12,000	12,133	△ 133	
② 事業収入	(473,874,000)	(△ 1,591,000)	(472,283,000)	(467,761,000)	(4,522,000)	
1 公社事業収入	473,874,000	△ 1,591,000	472,283,000	467,761,000	4,522,000	
1 本社管理費収入	32,677,000		32,677,000	32,677,000	0	
2 下関市勤労青少年ホーム事業収入	21,847,000		21,847,000	21,847,000	0	
3 下関市勤労者総合福祉センター事業収入	23,987,000		23,987,000	23,987,000	0	
4 火の山地区観光施設管理運営事業収入	17,778,000		17,778,000	17,778,000	0	
5 長府庭園事業収入	35,522,000		35,522,000	35,522,000	0	
6 下関市ふれあい健康ランド事業収入	110,098,000	△ 360,000	109,738,000	109,738,000	0	
7 長府毛利邸事業収入	25,342,000		25,342,000	25,342,000	0	
8 唐戸市場駐車場事業収入	26,444,000	△ 1,231,000	25,213,000	25,213,000	0	
9 下関市長府体育館事業収入	18,328,000		18,328,000	18,328,000	0	
10 下関市民プール事業収入	37,878,000		37,878,000	37,878,000	0	
11 下関市彦島体育館事業収入	21,217,000		21,217,000	21,217,000	0	
12 下関市立美術館事業収入	19,451,000		19,451,000	19,451,000	0	
13 粗大ごみ等受付センター事業収入	44,912,000		44,912,000	44,912,000	0	
14 スポーツセンター事業収入	26,985,000		26,985,000	26,985,000	0	
15 菊川温泉プール事業収入	11,408,000		11,408,000	6,886,000	4,522,000	
④ 雑収入	(51,000)		(51,000)	(35,956)	(15,044)	
雑収入	51,000		51,000	35,956	15,044	
1 受取利息収入	36,000		36,000	35,956	44	
2 雑収入	15,000		15,000	0	15,000	
事業活動収入計	473,937,000	△ 1,591,000	472,346,000	467,809,089	4,536,911	
2. 事業活動支出						
① 事業費支出	(441,197,000)	(△ 1,591,000)	(439,606,000)	(435,084,000)	(4,522,000)	
事業費支出	441,197,000	△ 1,591,000	439,606,000	435,084,000	4,522,000	
2 下関市勤労青少年ホーム事業費	21,847,000		21,847,000	21,847,000	0	
3 下関市勤労者総合福祉センター事業費	23,987,000		23,987,000	23,987,000	0	
4 火の山地区観光施設管理運営事業費	17,778,000		17,778,000	17,778,000	0	
5 長府庭園事業費	35,522,000		35,522,000	35,522,000	0	
6 下関市ふれあい健康ランド事業費	110,098,000	△ 360,000	109,738,000	109,738,000	0	
7 長府毛利邸事業費	25,342,000		25,342,000	25,342,000	0	
8 唐戸市場駐車場事業費	26,444,000	△ 1,231,000	25,213,000	25,213,000	0	
9 下関市長府体育館事業費	18,328,000		18,328,000	18,328,000	0	
10 下関市民プール事業費	37,878,000		37,878,000	37,878,000	0	
11 下関市彦島体育館事業費	21,217,000		21,217,000	21,217,000	0	
12 下関市立美術館事業費	19,451,000		19,451,000	19,451,000	0	
13 粗大ごみ等受付センター事業費	44,912,000		44,912,000	44,912,000	0	
14 スポーツセンター事業費	26,985,000		26,985,000	26,985,000	0	
15 菊川温泉プール事業費	11,408,000		11,408,000	6,886,000	4,522,000	
③ 管理費支出	(41,745,000)	(2,279,000)	(44,024,000)	(44,008,849)	(15,151)	
管理費支出	41,745,000	2,279,000	44,024,000	44,008,849	15,151	

収 支 計 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科 目 大科目 中科目 小科目	予 算 額			決 算 額	差 異	備 考
	当初予算額	補正・流用額	合計			
1 本社費	32,740,000	0	32,740,000	32,725,089	14,911	
2 退職手当	9,005,000	2,279,000	11,284,000	11,283,760	240	
事業活動支出計	482,942,000	688,000	483,630,000	479,092,849	4,537,151	
事業活動収支差額	△ 9,005,000	△ 2,279,000	△ 11,284,000	△ 11,283,760	△ 240	
II 投資活動収支の部						
1. 投資活動収入						
① 特定資産取崩収入	(9,005,000)	(2,279,000)	(11,284,000)	(11,283,760)	(240)	
退職給付引当資産取崩収入	9,005,000	2,279,000	11,284,000	11,283,760	240	
1 退職給付引当資産取崩収入	9,005,000	2,279,000	11,284,000	11,283,760	240	
投資活動収入計	9,005,000	2,279,000	11,284,000	11,283,760	240	
2. 投資活動支出						
投資活動支出計	0	0	0	0	0	
投資活動収支差額	9,005,000	2,279,000	11,284,000	11,283,760	240	
III 財務活動収支の部						
1. 財務活動収入						
財務活動収入計	0	0	0	0	0	
2. 財務活動支出						
財務活動支出計	0	0	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	0	0	
IV その他						
1. 予備費支出						
予備費支出計	0	0	0	0	0	
当期収支差額	0	0	0	0	0	
当期収入合計	482,942,000	688,000	483,630,000	479,092,849	4,537,151	
当期支出合計	482,942,000	688,000	483,630,000	479,092,849	4,537,151	
前期繰越収支差額				0		
次期繰越収支差額				0		

事業費内訳書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科 目			予 算 額			決算額	差 異	備 考
大科目	中科目	小科目	当初予算額	補正・流用額	合計			
I	事業活動支出の部							
	2. 事業活動支出							
	① 事業費支出		(441,197,000)	(△ 1,591,000)	(439,606,000)	(435,084,000)	(4,522,000)	
	1 事業費支出		441,197,000	△ 1,591,000	439,606,000	435,084,000	4,522,000	
	1 報酬		31,653,000	5,525,800	37,178,800	37,178,800	0	
	2 給料		137,268,000	△ 9,897,962	127,370,038	127,370,038	0	
	3 手当		63,707,000	△ 824,716	62,882,284	62,882,284	0	
	4 共済費		36,665,000	△ 3,533,785	33,131,215	33,131,215	0	
	5 退職給付費用		5,191,000	11,486,764	16,677,764	16,677,764	0	
	6 賃金		14,201,000	1,209,090	15,410,090	12,030,090	3,380,000	
	8 旅費		908,000	144,195	1,052,195	923,195	129,000	
	11 消耗品費		8,939,000	△ 357,316	8,581,684	7,704,684	877,000	
	12 燃料費		11,000	△ 11,000	0	0	0	
	14 印刷製本費		4,507,000	△ 700,068	3,806,932	3,806,932	0	
	15 光熱水費		45,942,000	△ 2,219,029	43,722,971	43,722,971	0	
	16 修繕料		7,391,000	883,538	8,274,538	8,224,538	50,000	
	18 通信運搬費		1,442,000	△ 152,204	1,289,796	1,289,796	0	
	19 広告料		114,000	△ 33,130	80,870	80,870	0	
	20 手数料		2,415,000	△ 289,924	2,125,076	2,125,076	0	
	21 保険料		1,064,000	△ 409,710	654,290	618,290	36,000	
	22 委託料		62,999,000	△ 2,647,591	60,351,409	60,351,409	0	
	23 使用料及び賃借料		1,816,000	△ 279,980	1,536,020	1,536,020	0	
	24 原材料費		210,000	△ 6,732	203,268	153,268	50,000	
	25 行事費		69,000	870	69,870	69,870	0	
	26 備品購入費		0	530,754	530,754	530,754	0	
	27 負担金		189,000	△ 16,650	172,350	172,350	0	
	28 公課費		14,496,000	7,786	14,503,786	14,503,786	0	
	③ 管理費支出		(41,745,000)	(2,279,000)	(44,024,000)	(44,008,849)	(15,151)	
	管理費支出		41,745,000	2,279,000	44,024,000	44,008,849	15,151	
	本社費		32,740,000	0	32,740,000	32,725,089	14,911	
	1 報酬		5,370,000	△ 490	5,369,510	5,369,510	0	
	2 給料		9,399,000	139,057	9,538,057	9,538,057	0	
	3 手当		5,437,000	531,233	5,968,233	5,968,233	0	
	4 共済費		3,031,000	0	3,031,000	3,031,000	0	
	5 退職給付費用		930,000	383,123	1,313,123	1,313,123	0	
	6 賃金		50,000	△ 50,000	0	0	0	
	7 報償費		100,000	△ 86,800	13,200	13,200	0	
	8 旅費		95,000	△ 58,552	36,448	36,448	0	
	9 交際費		105,000	△ 60,000	45,000	45,000	0	
	11 消耗品費		413,000	62,552	475,552	475,552	0	
	12 燃料費		118,000	7,109	125,109	125,109	0	
	14 印刷製本費		23,000	△ 1,832	21,168	21,168	0	
	15 光熱水費		450,000	45,353	495,353	495,353	0	
	16 修繕料		21,000	△ 6,089	14,911	0	14,911	
	18 通信運搬費		435,000	△ 136,015	298,985	298,985	0	
	20 手数料		782,000	△ 141,671	640,329	640,329	0	
	22 委託料		3,465,000	△ 400,820	3,064,180	3,064,180	0	
	23 使用料及び賃借料		1,189,000	△ 332,817	856,183	856,183	0	
	26 備品購入費		0	64,575	64,575	64,575	0	
	27 負担金		105,000	△ 400	104,600	104,600	0	
	28 公課費		1,222,000	42,484	1,264,484	1,264,484	0	
	退職手当		9,005,000	2,279,000	11,284,000	11,283,760	240	
	1 退職手当		9,005,000	2,279,000	11,284,000	11,283,760	240	
	事業活動支出計		482,942,000	688,000	483,630,000	479,092,849	4,537,151	

収 支 計 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科 目 大科目 中科目 小科目	予 算 額			決算額	差 異	備 考
	当初予算額	補正・流用額	合計			
I 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
② 事業収入	(90,506,000)	(24,734,000)	(115,240,000)	(88,266,228)	(26,973,772)	
1 満珠荘事業収益	90,506,000	24,734,000	115,240,000	88,266,228	26,973,772	
(2) 営業収益	90,506,000	24,734,000	115,240,000	88,266,228	26,973,772	
1 宿泊料収入	34,365,000	△ 6,208,000	28,157,000	21,859,490	6,297,510	
2 入浴料収入	15,425,000	97,000	15,522,000	13,562,000	1,960,000	
3 食事料収入	34,721,000	33,418,000	68,139,000	49,942,139	18,196,861	
4 売店、自動販売機事業収入	5,995,000	△ 3,541,000	2,454,000	2,320,939	133,061	
5 家族風呂、多目的室、衛生用品販売収入		792,000	792,000	483,160	308,840	
6 受講料等収入		176,000	176,000	98,500	77,500	
④ 雑収入	(2,000)		(2,000)	(1,288)	(712)	
1 受取利息収入	1,000		1,000	1,288	△ 288	
1 受取利息	1,000		1,000	1,288	△ 288	
2 雑収入	1,000		1,000	0	1,000	
1 雑収入	1,000		1,000	0	1,000	
⑤ 他会計からの繰入金収入	(0)	(2,400,000)	(2,400,000)	(2,400,000)	(0)	
駐車場特別会計からの繰入金収入	0	2,400,000	2,400,000	2,400,000	0	
3 特別会計繰入金収入		2400000	2,400,000	2,400,000	0	
事業活動収入計	90,508,000	27,134,000	117,642,000	90,667,516	26,974,484	
2. 事業活動支出						
① 事業費支出	(86,742,000)	(26,965,000)	(113,707,000)	(102,584,156)	(11,122,844)	
1 満珠荘事業費用	86,742,000	26,965,000	113,707,000	102,584,156	11,122,844	
(1) 営業費用	86,742,000	26,965,000	113,707,000	102,584,156	11,122,844	
1 報酬	3,530,000	1,524,000	5,054,000	4,191,900	862,100	
2 給料	14,136,000	△ 32,000	14,104,000	12,641,000	1,463,000	
3 手当	8,671,000	1,421,000	10,092,000	8,938,477	1,153,523	
4 共済費	3,738,000	1,019,000	4,757,000	4,222,980	534,020	
5 退職給付費用	665,000	△ 20,000	645,000	0	645,000	
6 賃金	5,458,000	11,702,000	17,160,000	16,808,800	351,200	
7 報償費	80,000	40,000	120,000	98,800	21,200	
8 旅費	506,000	186,000	692,000	486,300	205,700	
11 消耗品費	514,000	2,045,670	2,559,670	2,372,615	187,055	
12 燃料費	183,000	△ 128,000	55,000	52,513	2,487	
14 印刷製本費	579,000	△ 279,000	300,000	288,645	11,355	
15 光熱水費	16,867,000	△ 1,338,390	15,528,610	15,280,012	248,598	
16 修繕料	400,000	△ 280,000	120,000	0	120,000	
18 通信運搬費	486,000	△ 78,000	408,000	385,654	22,346	
19 広告料	300,000	392,000	692,000	646,820	45,180	
20 手数料	906,000	△ 266,000	640,000	539,072	100,928	
21 保険料	131,000	36,000	167,000	153,210	13,790	
22 委託料	5,656,000	3,322,000	8,978,000	8,421,626	556,374	
23 使用料及び賃借料	5,511,000	△ 317,827	5,193,173	4,221,551	971,622	
24 原材料費	12,219,000	10,046,721	22,265,721	20,007,894	2,257,827	
26 備品購入費	124,000	876,000	1,000,000	956,153	43,847	
27 負担金	29,000	0	29,000	0	29,000	
28 公課費	2,588,000	261,000	2,849,000	1,602,712	1,246,288	
29 商品仕入	3,465,000	△ 3,167,174	297,826	267,422	30,404	
事業活動支出計	86,742,000	26,965,000	113,707,000	102,584,156	11,122,844	
事業活動収支差額	3,766,000	169,000	3,935,000	△ 11,916,640	15,851,640	

収 支 計 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科 目 大科目 中科目 小科目	予 算 額			決 算 額	差 異	備 考
	当初予算額	補正・流用額	合計			
II 投資活動収支の部						
1. 投資活動収入						
投資活動収入計	0	0	0	0	0	
2. 投資活動支出						
投資活動支出計	0	0	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	0	0	
III 財務活動収支の部						
1. 財務活動収入						
財務活動収入計	0	0	0	0	0	
2. 財務活動支出						
①借入金返済支出	(3,766,000)	(0)	(3,766,000)	(0)	3,766,000	
1 売店特別会計借入金返済	3,766,000		3,766,000	0	3,766,000	
1 売店特別会計借入金返済	3,766,000		3,766,000	0	3,766,000	
財務活動支出計	3,766,000	0	3,766,000	0	3,766,000	
財務活動収支差額	△ 3,766,000	0	△ 3,766,000	0	△ 3,766,000	
IV その他						
1. 予備費支出						
予備費支出計	0	0	0	0	0	
当期収支差額	0	169,000	169,000	△ 11,916,640	12,085,640	
当期収入合計	90,508,000	27,134,000	117,642,000	90,667,516	26,974,484	
当期支出合計	90,508,000	26,965,000	117,473,000	102,584,156	14,888,844	
前期繰越収支差額	0	0	0	9,940,897	△ 9,940,897	
次期繰越収支差額	0	169,000	169,000	△ 1,975,743	2,144,743	

収 支 計 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科 目 大科目 中科目 小科目	予 算 額			決算額	差 異	備 考
	当初予算額	補正・流用額	合計			
I 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
② 事業収入	(13,712,000)		(13,712,000)	(11,041,962)	(2,670,038)	
1 売店事業収益	13,712,000		13,712,000	11,041,962	2,670,038	
(1) 営業収益	13,712,000		13,712,000	11,041,962	2,670,038	
1 販売手数料収入	4,759,000		4,759,000	3,433,929	1,325,071	
2 手数料収入	5,991,000		5,991,000	5,323,019	667,981	
3 遊戯機使用料収入	637,000		637,000	422,818	214,182	
4 売店事業収入	623,000		623,000	443,702	179,298	
5 実費弁償金収入	1,702,000		1,702,000	1,418,494	283,506	
④ 雑収入	(332,000)		(332,000)	(336,202)	(△ 4,202)	
1 受取利息収入	25,000		25,000	23,282	1,718	
1 受取利息	25,000		25,000	23,282	1,718	
2 雑収入	307,000		307,000	312,920	△ 5,920	
1 雑収入	307,000		307,000	312,920	△ 5,920	
事業活動収入計	14,044,000	0	14,044,000	11,378,164	2,665,836	
2. 事業活動支出						
① 事業費支出	(12,729,000)		(12,729,000)	(11,427,271)	(1,301,729)	
1 売店事業費用	12,729,000		12,729,000	11,427,271	1,301,729	
(1) 営業費用	12,729,000		12,729,000	11,427,271	1,301,729	
1 報酬	1,590,000		1,590,000	1,590,000	0	
2 給料	3,987,000		3,987,000	3,703,108	283,892	
3 手当	2,224,000		2,224,000	2,050,049	173,951	
4 共済費	1,130,000		1,130,000	1,066,356	63,644	
5 退職給付費用	197,000		197,000	0	197,000	
8 旅費	126,000		126,000	81,104	44,896	
14 印刷製本費	11,000		11,000	0	11,000	
15 光熱水費	1,559,000		1,559,000	1,512,512	46,488	
23 使用料及び賃借料	833,000		833,000	753,261	79,739	
27 公課費	478,000		478,000	357,294	120,706	
28 商品仕入	594,000		594,000	313,587	280,413	
③ 管理費支出	(1,283,000)		(1,283,000)	(777,498)	(505,502)	
1 管理費支出	1,283,000		1,283,000	777,498	505,502	
(1) 本社費	1,283,000		1,283,000	777,498	505,502	
1 報酬	420,000		420,000	273,000	147,000	
9 交際費	60,000		60,000	41,369	18,631	
11 消耗品費	229,000		229,000	158,696	70,304	
16 修繕料	53,000		53,000	0	53,000	
18 通信運搬費	201,000		201,000	178,311	22,689	
20 手数料	40,000		40,000	1,890	38,110	
21 保険料	30,000		30,000	22,830	7,170	
25 行事費	141,000		141,000	57,902	83,098	
26 備品購入費	30,000		30,000	0	30,000	
27 負担金	8,000		8,000	8,000	0	
28 公課費	71,000		71,000	35,500	35,500	
事業活動支出計	14,012,000	0	14,012,000	12,204,769	1,807,231	
事業活動収支差額	32,000	0	32,000	△ 826,605	858,605	

収 支 計 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科 目 大科目 中科目 小科目	予 算 額			決算額	差 異	備 考
	当初予算額	補正・流用額	合計			
Ⅲ 財務活動収支の部						
1. 財務活動収入						
① 貸付金収入	(3,766,000)		(3,766,000)	(0)	(3,766,000)	
1 満珠荘特別会計貸付金収入	3,766,000		3,766,000	0	3,766,000	
1 満珠荘特別会計貸付金収入	3,766,000		3,766,000	0	3,766,000	
財務活動収入計	3,766,000	0	3,766,000	0	3,766,000	
2. 財務活動支出						
① 貸付金支出	(0)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)	
2 サングリーン菊川特別会計貸付金支出	0	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	
1 サングリーン菊川特別会計貸付金支出	0	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	
財務活動支出計	0	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	
財務活動収支差額	3,766,000	△ 1,000,000	2,766,000	△ 1,000,000	3,766,000	
Ⅳ その他						
1. 予備費支出						
予備費支出計	0	0	0	0	0	
当期収支差額	3,798,000	△ 1,000,000	2,798,000	△ 1,826,605	4,624,605	
当期収入合計	17,810,000	0	17,810,000	11,378,164	6,431,836	
当期支出合計	14,012,000	1,000,000	15,012,000	13,204,769	1,807,231	
前期繰越収支差額	23,815,000	0	23,815,000	24,545,772	△ 730,772	
次期繰越収支差額	27,613,000	△ 1,000,000	26,613,000	22,719,167	3,893,833	

収 支 計 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科 目 大科目 中科目 小科目	予 算 額			決算額	差 異	備 考
	当初予算額	補正・流用額	合計			
I 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
② 事業収入	(6,024,000)		(6,024,000)	(5,950,540)	(73,460)	
1 駐車場事業収益	6,024,000		6,024,000	5,950,540	73,460	
(2)営業収益	6,024,000		6,024,000	5,950,540	73,460	
1 駐車料金収入	6,024,000		6,024,000	5,950,540	73,460	
④ 雑収入	(2,000)		(2,000)	(1,381)	(619)	
1 受取利息収入	1,000		1,000	181	819	
1 受取利息	1,000		1,000	181	819	
2 雑収入	1,000		1,000	1,200	△ 200	
1 雑収入	1,000		1,000	1,200	△ 200	
事業活動収入計	6,026,000	0	6,026,000	5,951,921	74,079	
2. 事業活動支出						
① 事業費支出	(6,000,000)	(△ 2,400,000)	(3,600,000)	(3,345,248)	(254,752)	
1 駐車場事業費	6,000,000	△ 2,400,000	3,600,000	3,345,248	254,752	
(1)営業費用	6,000,000	△ 2,400,000	3,600,000	3,345,248	254,752	
1 報酬	1,590,000	△ 149,400	1,440,600	1,426,200	14,400	
2 給料	1,473,000	△ 1,473,000	0	0	0	
3 手当	126,000		126,000	95,246	30,754	
4 共済費	272,000		272,000	220,297	51,703	
11 消耗品費	196,000	△ 169,000	27,000	26,827	173	
12 燃料費	18,000		18,000	0	18,000	
14 印刷製本費	27,000		27,000	0	27,000	
15 光熱水費	341,000		341,000	279,319	61,681	
16 修繕料	483,000	△ 455,540	27,460	17,850	9,610	
18 通信運搬費	83,000		83,000	82,500	500	
20 手数料		20,000	20,000	2,315	17,685	
21 保険料		16,860	16,860	16,080	780	
22 委託料	394,000	△ 300,000	94,000	73,500	20,500	
23 使用料及び賃借料	823,000	△ 147,860	675,140	674,224	916	
26 備品購入費		218,400	218,400	217,350	1,050	
28 公課費	174,000	39,540	213,540	213,540	0	
④他会計への繰入金支出		(2,400,000)	(2,400,000)	(2,400,000)	(0)	
特別会計への繰入金支出		2,400,000	2,400,000	2,400,000	0	
満珠荘特別会計への繰出金		2,400,000	2,400,000	2,400,000	0	
事業活動支出計	6,000,000	0	6,000,000	5,745,248	254,752	
事業活動収支差額	26,000	0	26,000	206,673	△ 180,673	
II 投資活動収支の部						
1. 投資活動収入						
2. 投資活動支出						
III 財務活動収支の部						
1. 財務活動収入						
2. 財務活動支出						
財務活動収支差額	0	0	0	0	0	
IV その他						
1. 予備費支出						
予備費支出計	0	0	0	0	0	
当期収支差額	26,000	0	26,000	206,673	△ 180,673	
当期収入合計	6,026,000	0	6,026,000	5,951,921	74,079	
当期支出合計	6,000,000	0	6,000,000	5,745,248	254,752	
前期繰越収支差額	0	0	0	0	0	
次期繰越収支差額	26,000	0	26,000	206,673	△ 180,673	

収 支 計 算 書

平成24年7月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科 目 大科目 中科目 小科目	予 算 額			決算額	差 異	備 考
	当初予算額	補正・流用額	合計			
I 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
② 事業収入	(1,200,000)	(1,110,000)	(2,310,000)	(1,815,100)	(494,900)	
1 自主事業収益	1,200,000	1,110,000	2,310,000	1,815,100	494,900	
(1)事業収益	360,000		360,000	360,000	0	
1 介護予防事業収入	360,000		360,000	360,000	0	
(2)営業収益	840,000	1,110,000	1,950,000	1,455,100	494,900	
1 飲食料収入	840,000	840,000	1,680,000	1,299,600	380,400	
2 商品販売収入	0	270,000	270,000	155,500	114,500	
④ 雑収入	(2,000)		(2,000)	(34)	(1,966)	
1 受取利息収入	1,000		1,000	34	966	
1 受取利息	1,000		1,000	34	966	
2 雑収入	1,000		1,000	0	1,000	
1 雑収入	1,000		1,000	0	1,000	
事業活動収入計	1,202,000	1,110,000	2,312,000	1,815,134	496,866	
2. 事業活動支出						
① 事業費支出	(1,202,000)	(1,110,000)	(2,312,000)	(1,768,379)	(543,621)	
1 自主事業費	1,202,000	1,110,000	2,312,000	1,768,379	543,621	
(1)営業費用	1,202,000	1,110,000	2,312,000	1,768,379	543,621	
7 報償費		175,000	175,000	175,000	0	
8 旅費		11,000	11,000	9,680	1,320	
11 消耗品費	621,000	188,086	809,086	651,584	157,502	
12 燃料費		18,164	18,164	11,599	6,565	
18 通信運搬費		1,000	1,000	735	265	
20 手数料		11,570	11,570	11,570	0	
21 保険料	35,000		35,000	34,500	500	
23 使用料及び賃借料	101,000	△ 25,320	75,680	75,680	0	
27 負担金		50,500	50,500	50,500	0	
28 公課費		5,291	5,291	5,291	0	
29 商品仕入	445,000	561,999	1,006,999	629,530	377,469	
30 広告宣伝費		112,710	112,710	112,710	0	
事業活動支出計	1,202,000	1,110,000	2,312,000	1,768,379	543,621	
事業活動収支差額	0	0	0	46,755	△ 46,755	
II 投資活動収支の部						
1. 投資活動収入						
2. 投資活動支出						
III 財務活動収支の部						
1. 財務活動収入						
2. 財務活動支出						
IV その他						
1. 予備費支出						
予備費支出計	0	0	0	0	0	
当期収支差額	0	0	0	46,755	△ 46,755	
当期収入合計	1,202,000	1,110,000	2,312,000	1,815,134	496,866	
当期支出合計	1,202,000	1,110,000	2,312,000	1,768,379	543,621	
前期繰越収支差額	0	0	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	46,755	△ 46,755	

収 支 計 算 書

平成25年1月31日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科 目 大科目 中科目 小科目	予 算 額			決算額	差 異	備 考
	当初予算額	補正・流用額	合計			
I 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
④ 雑収入	(2,000)		(2,000)	(9,880)	(△ 7,880)	
雑収入	2,000		2,000	9,880	△ 7,880	
1 受取利息	1,000		1,000	4	996	
2 雑収入	1,000		1,000	9,876	△ 8,876	
事業活動収入計	2,000	0	2,000	9,880	△ 7,880	
2. 事業活動支出						
① 事業費支出	(502,000)	(500,000)	(1,002,000)	(624,690)	(377,310)	
1 事業費用	502,000	500,000	1,002,000	624,690	377,310	
11 消耗品費	100,000		100,000	1,890	98,110	
18 通信運搬費	2,000		2,000	0	2,000	
20 手数料	250,000	△ 95,000	155,000	61,365	93,635	
21 保険料		387,000	387,000	349,270	37,730	
24 原材料費	100,000		100,000		100,000	
26 備品購入費	50,000	200,000	250,000	204,165	45,835	
27 負担金		8,000	8,000	8,000	0	
事業活動支出計	502,000	500,000	1,002,000	624,690	377,310	
事業活動収支差額	△ 500,000	△ 500,000	△ 1,000,000	△ 614,810	△ 385,190	
II 投資活動収支の部						
1. 投資活動収入						
投資活動収入計	0	0	0	0	0	
2. 投資活動支出						
投資活動支出計	0	0	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	0	0	
III 財務活動収支の部						
1. 財務活動収入						
① 借入金収入	(500,000)	(500,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	0	
1 売店特別会計借入金収入	500,000	500,000	1,000,000	1,000,000	0	
1 売店特別会計借入金収入	500,000	500,000	1,000,000	1,000,000	0	
財務活動収入計	500,000	500,000	1,000,000	1,000,000	0	
2. 財務活動支出						
財務活動支出計	0	0	0	0	0	
財務活動収支差額	500,000	500,000	1,000,000	1,000,000	0	
IV その他						
1. 予備費支出	0		0	0	0	
予備費支出計	0		0	0	0	
当期収支差額	0	0	0	385,190	△ 385,190	
当期収入合計	502,000	500,000	1,002,000	1,009,880	△ 7,880	
当期支出合計	502,000	500,000	1,002,000	624,690	377,310	
前期繰越収支差額		0	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	385,190	△ 385,190	

収 支 計 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科 目 大科目 中科目 小科目	予 算 額			決算額	差 異	備 考
	当初予算額	補正・流用額	合計			
I 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
④ 雑収入	(1,000)		(1,000)	(883)	(117)	
雑収入	1,000		1,000	883	117	
1 受取利息収入	1,000		1,000	883	117	
事業活動収入計	1,000		1,000	883	117	
2. 事業活動支出						
① 事業費支出	(2,725,000)		(2,725,000)	(781,003)	(1,943,997)	
1 福利厚生事業費	2,725,000		2,725,000	781,003	1,943,997	
(1)高年齢者福利事業費	2,725,000		2,725,000	781,003	1,943,997	
1 報酬	50,000		50,000	0	50,000	
8 旅費	318,000		318,000	23,944	294,056	
9 交際費	50,000		50,000	0	50,000	
10 福利厚生費	1,042,000	△ 76,000	966,000	39,400	926,600	
11 消耗品費	126,000		126,000	0	126,000	
12 燃料費	126,000		126,000	0	126,000	
16 修繕料	53,000		53,000	13,755	39,245	
18 通信運搬費		76,000	76,000	67,498	8,502	
20 手数料	303,000	△ 980	302,020	182,326	119,694	
21 保険料	103,000	980	103,980	103,980	0	
23 使用料及び賃借料	240,000		240,000	240,000	0	
26 負担金	277,000		277,000	74,000	203,000	
27 公課費	37,000		37,000	36,100	900	
事業活動支出計	2,725,000	0	2,725,000	781,003	1,943,997	
事業活動収支差額	△ 2,724,000	0	△ 2,724,000	△ 780,120	△ 1,943,880	
IV その他						
1. 予備費支出	114,000		114,000	0	114,000	
予備費支出	114,000		114,000	0	114,000	
1 予備費支出	114,000		114,000	0	114,000	
予備費支出計	114,000	0	114,000	0	114,000	
当期収支差額	△ 2,838,000	0	△ 2,838,000	△ 780,120	△ 2,057,880	
当期収入合計	1,000	0	1,000	883	117	
当期支出合計	2,839,000	0	2,839,000	781,003	2,057,997	
前期繰越収支差額	4,058,000		4,058,000	2,846,391	1,211,609	
次期繰越収支差額	1,220,000	0	1,220,000	2,066,271	△ 846,271	

監査報告

平成25年5月27日

一般財団法人下関市公営施設管理公社
理事長 肥塚光志 様

監事 岡田 健 印

監事 中村 文昭 印

私たち監事は、当法人の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの平成24年度の理事の職務の執行について、監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第99条第1項の規定に基づき、業務及び会計の監査を行い、下記のとおり報告する。

記

1 監査の方法及びその内容

- (1) 業務監査については、閲覧、質問など必要と思われる監査手続を用いて事業報告及びその附属明細書並びに理事の職務の執行を監査した。
- (2) 会計監査については、閲覧、証憑突合など必要と思われる監査手続を用いて貸借対照表及び正味財産増減計算書(財務諸表に対する注記を含む。以下「計算書類」という。)並びにその附属明細書を監査した。

2 監査意見

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。
- (3) 計算書類及びその附属明細書は、会計帳簿又はこれに関する資料の記載金額と一致し、当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示していると認める。

以上

平成24年度 利用状況表

上段 24年度

下段 23年度

NO. 1

月	下関市勤労	下関市勤労者	火の山地区観光施設		長府庭園	下関市ふれあい 健康ランド	長府毛利邸	唐戸市場駐車場	長府体育館	
	青少年ホーム	総合福祉センター	火の山立体駐車場	火の山ロープウェイ					長府体育館	長府運動場
	利用者数	利用者数	利用台数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用台数	利用者数	利用者数
4	1,483	3,975	8,967	8,130	5,186	9,550	4,174	31,558	2,857	1,702
	1,648	4,553	10,081	14,164	5,351	1,084	5,790	31,195	4,606	1,780
5	1,782	3,944	6,801	5,739	6,604	10,223	6,423	35,818	2,877	2,053
	1,654	4,234	7,003	5,712	5,401	1,040	6,281	37,859	2,338	1,973
6	1,896	4,909	3,612	2,170	4,227	10,743	2,911	28,187	3,067	1,541
	1,671	5,934	3,476	1,389	3,521	1,005	5,691	29,078	2,862	1,870
7	2,134	4,900	4,192	2,437	3,665	13,031	2,735	33,843	5,014	1,608
	2,157	5,971	4,246	2,506	3,926	14,828	3,494	32,265	3,653	1,928
8	1,790	4,715	6,130	5,278	3,328	14,238	3,406	41,027	2,369	1,481
	1,466	6,120	5,830	4,263	2,731	15,352	4,712	39,519	2,175	1,748
9	1,692	4,582	4,878	3,039	3,836	12,301	2,770	33,285	2,762	1,783
	1,581	6,183	5,051	3,860	3,462	13,566	5,493	32,868	1,268	1,664
10	2,122	6,052	5,467	5,134	5,330	12,697	4,487	33,739	2,846	1,979
	2,071	9,923	4,943	3,725	6,627	14,175	6,022	34,663	2,745	1,520
11	1,686	4,923	4,684	3,898	15,909	7,871	11,128	32,282	2,481	1,915
	1,270	4,282	4,617	3,418	13,956	7,797	12,971	32,729	2,468	1,564
12	1,642	4,301	3,241	0	3,062	4,029	2,699	43,662	4,641	1,488
	1,700	4,263	3,546	0	4,851	3,706	5,243	44,270	2,003	1,486
1	1,442	3,980	4,023	0	2,747	8,571	3,360	34,713	2,141	1,326
	1,382	4,152	3,899	0	1,952	9,107	3,612	27,333	2,294	1,282
2	1,401	3,735	3,888	0	5,951	7,592	7,682	29,818	2,339	1,418
	1,565	4,517	3,352	0	6,594	8,749	6,260	28,166	2,326	1,695
3	1,837	4,879	8,504	8,862	6,980	8,663	6,500	34,973	5,248	1,963
	1,813	4,832	5,085	1,898	6,045	9,677	5,533	35,319	2,779	2,053
合計	20,907	54,895	64,387	44,687	66,825	119,509	58,275	412,905	38,642	20,257
	19,978	64,964	61,129	40,935	64,417	100,086	71,102	405,264	31,517	20,563
差異	929	△ 10,069	3,258	3,752	2,408	19,423	△ 12,827	7,641	7,125	△ 306

平成24年度 利用状況表

上段 24年度

下段 23年度

NO. 2

月	長府扇町運動広場	市民プール	彦島体育館等 施設合計	美術館	粗大ごみ等 受付センター	スポーツセンター	下関市満珠荘			菊川温泉プール
	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	受付件数	利用者数	宿泊者数	浴場利用者数	利用者数合計	利用者数
4	3,980		7,746	4,787	11,422	16,735	468	2,919	3,387	
	4,152		8,041	2,397	10,838					
5	5,750		7,764	8,883	14,199	15,653	418	2,493	2,911	
	6,916		6,963	4,395	12,995					
6	2,706		5,691	2,769	11,339	14,720	331	2,297	2,628	3,771
	4,457		6,373	2,281	12,341					
7	4,338	10,587	6,642	5,027	13,576	16,564	334	2,166	2,500	6,139
	8,206	10,754	7,700	5,144	14,171					
8	5,404	17,921	7,316	5,835	11,883	15,356	467	2,155	2,622	7,129
	2,959	16,169	7,003	5,300	13,229					
9	5,313		6,709	6,295	10,936	14,518	288	1,908	2,196	3,866
	9,449		7,225	4,839	11,553					
10	3,588		7,497	4,453	13,842	15,033	423	2,419	2,842	2,680
	6,469		7,861	8,546	13,186					
11	4,830		6,893	4,595	13,496	12,300	429	2,600	3,029	2,202
	5,970		6,400	8,369	13,535					
12	1,549		4,981	2,136	15,692	10,615	419	3,095	3,514	1,783
	3,345		5,035	5,142	13,624					
1	701		5,485	4,444	8,832	10,038	405	4,083	4,488	1,678
	1,484		5,595	5,347	9,187					
2	1,774		4,547	4,939	8,932	9,915	339	3,314	3,653	1,586
	2,391		3,907	10,307	7,250		65	582	647	
3	3,744		5,716	3,669	11,418	13,563	382	3,698	4,080	1,943
	8,087		6,907	6,568	9,927		449	3,418	3,867	
合計	43,677	28,508	76,987	57,832	145,567	165,010	4,703	33,147	37,850	32,777
	63,885	26,923	79,010	68,635	141,836		514	4,000	4,514	
差異	△ 20,208	1,585	△ 2,023	△ 10,803	3,731	165,010	4,189	29,147	33,336	32,777

平成 2 5 年 度

一般財団法人下関市公営施設管理公社

事 業 計 画 書

収 支 予 算 書

一般財団法人下関市公営施設管理公社

目 次

平成25年度 事業計画書及び収支予算書

○ 事業計画書	1
○ 収支予算書	3
○ 実施事業等会計内訳、その他会計内訳、法人会計内訳	
○ 実施事業等会計内訳	
実施事業	4
○ その他会計内訳	
1. 火の山地区観光施設	6
2. 下関市火の山ロープウェイ	8
3. 下関市勤労青少年ホーム	10
4. 唐戸市場駐車場	12
5. 下関市長府体育館（長府運動場）	14
6. 下関市市民プール（長府扇町運動広場）	16
7. 下関市彦島体育館 （下関市彦島庭球場・彦島地区公園多目的広場）	18
8. 下関市立美術館	20
9. 下関市勤労者総合福祉センター	22
10. 長府庭園	24
11. 下関市ふれあい健康ランド	26
12. 長府毛利邸	28
13. 粗大ごみ等受付センター	30
14. 下関運動公園内7体育施設及び下関市フットサル場	32
15. 下関市満珠荘	34
16. 下関市営宿舎サングリーン菊川（下関市菊川温泉プール）	36
17. 売店	38
18. 駐車場	40
○ 法人会計内訳	42

事業計画書

1. 基本方針

一般財団法人下関市公営施設管理公社は、下関市と密接な連携を保ち、下関市が設置する施設の管理運営について、下関市から指定管理及び委託を受け、施設の設置目的を達成することによって市民の福利厚生に寄与することを目的としている。

この目的を達成するため、下関市から指定管理及び委託を受けた施設の条例等による管理内容と公共性を十分理解し、施設の設置目的の実現に向け効率、効果的な事業運営に努める。

施設管理においては、「下関市環境方針」に基づき、省エネルギー、省資源、廃棄物減量など、環境への負荷低減に努め、適切な管理を行う。

公共施設の観点から、個人情報保護に関する法律及び「下関市個人情報保護条例」等、業務上知り得た個人情報の保護の重要性を認識し、その取り扱いを適正に行うことに努め、違反した職員に就業規則による罰則を適用すると共に、パソコン等情報機器等の防衛的技術対策を行う。

平成18年度から導入された指定管理者制度の趣旨を理解し、公益事業として施設管理、お客様に対する更なる提供サービスの向上と経費節減への取組みに努める。

規制緩和による競争、余暇の過ごし方の多様化、景気の減速等による利用者数の減少傾向等公社を取り巻く情勢が非常に厳しくなっている現在、全職員が経営環境を今まで以上に認識し、お客様が求める事業展開と健全な経営及び中長期に渡る経営計画の目標達成に努める。

2. 事業計画

平成25年度 一般財団法人下関市公営施設管理公社の事業は、次のとおり。

事業数は、実施事業等会計（1事業）、その他会計（18事業）、法人会計（1事業）、計20事業とする。平成25年度事業は、89名（職員63名、嘱託職員26名）の職員をもって実施する。

(1) 実施事業等会計

財団法人下関市公営施設管理公社が、一般財団法人へ移行することに伴う認可要件として、公益目的支出計画を作成することが必要であるので、管理運営を行う下関市満珠荘において自主事業として実施する。

(2) その他会計

指定管理事業及び業務受託事業（16事業）

下関市から指定管理及び委託を受けた公共施設等の管理業務について、お客様に満足していただくための運営に努める。

その他会計における指定管理施設及び受託施設

担当部・課名	指定管理施設及び受託施設（※表示）
産業振興部 ・産業立地・就業支援課 ・市場流通課	・下関市勤労青少年ホーム（愛称：ユーパル下関） ・下関市勤労者総合福祉センター（愛称：下関アクティブセンター） ※唐戸市場駐車場
観光交流部 ・観光施設課 ・スポーツ振興課	※火の山地区観光施設（下関市火の山パークウェイ・火の山立体駐車場） ※下関市火の山ロープウェイ ・長府庭園 ・下関市ふれあい健康ランド（愛称：ヘルシーランド下関） ・長府毛利邸 ・下関市長府体育館 ・長府運動場 ・下関市市民プール ・長府扇町運動広場 ・下関市彦島体育館 ・下関市彦島庭球場 ・彦島地区公園多目的広場 ・下関市営下関陸上競技場 ・下関市営庭球場 ・下関市体育館 ・下関市弓道場 ・下関市相撲場 ・下関市アーチェリー場 ・下関市向洋グラウンド ・下関市フットサル場

担当部・課名	指定管理施設及び受託施設（※表示）
教育委員会 ・美術館	※下関市立美術館
環境部 ・クリーン推進課	※粗大ごみ等受付センター
福祉部 ・いきいき支援課	・下関市満珠荘
菊川総合支所 ・地域政策課	・下関市営宿舍サングリーン菊川 ・下関市菊川温泉プール

売店事業（1事業）及び駐車場事業（1事業）

下関市から指定管理を受けた施設内等において、お客様へのサービス向上のため売店営業や自動販売機を設置する等の売店事業を行う。

また、山口県が所有する土地を借り受け、月極駐車場の管理運営として駐車場事業を行う。

(3) 法人会計

一般財団法人下関市公営施設管理公社の設置目的を達成するための部署として、また、下関市及び関係各機関と連携を図り、管理運営を行う各施設の効率的な運営に努めるために本社を設置する。

3. 管理運営

- (1) 下関市から指定管理及び委託を受けた各施設の管理業務について、下関市と連携を密にし、効率的な運営並びに利用者に満足していただくための運営に努める。
- (2) 業務遂行にあたっては、職員研修の実施により適切に指導し、敏速に処理をする。
- (3) 公金の管理及び指定管理料と受託料の執行については、安全かつ厳正を期する。
- (4) 職員の健康保持並びに職場環境の改善に努める。

平成25年度収支予算書（正味財産増減計算書ベース）

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

（単位：千円）

科 目	実施事業等会計		その他会計					法人会計	内部取引 消去	合計
	実施事業	施設管理	満珠荘	サングリーン 菊川	売店	駐車場	小計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
（1）経常収益										
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	12	0	12
事業収益	900	514,960	116,818	151,626	13,651	6,120	803,175	0	0	804,075
管理費収益	0	0	0	0	0	0	0	41,282	△ 41,282	0
雑収益	0	16	2	831	326	5	1,174	36	0	1,210
経常収益計	900	514,976	116,820	152,457	13,977	6,125	804,349	41,330	△ 41,282	805,297
（2）経常費用										
事業費	3,684	514,970	116,820	152,457	13,957	6,125	804,329		△ 41,282	766,731
管理費								43,292	0	43,292
経常費用計	3,684	514,970	116,820	152,457	13,957	6,125	804,329	43,292	△ 41,282	810,023
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,784	0	0	0	20	0	20	△ 1,962	0	△ 4,726
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,784	0	0	0	20	0	20	△ 1,962	0	△ 4,726
2. 経常外増減の部							0			
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額								0		0
当期一般正味財産増減額	△ 2,784	0	0	0	20	0	20	△ 1,962	0	△ 4,726
一般正味財産期首残高			△ 7,900		55,424	26	47,550	11,122		58,672
一般正味財産期末残高	△ 2,784	0	△ 7,900	0	55,444	26	47,570	9,160	0	53,946
II 指定正味財産増減の部							0			
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高							0			0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 2,784	0	△ 7,900	0	55,444	26	47,570	9,160	0	53,946

平成25年度

実施事業等会計内訳

事業計画内訳書

収支予算内訳書

実施事業

事業計画書

下関市公営施設管理公社が、一般財団法人への移行することに伴い、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成18年法律第50号）第119条公益目的支出計画の作成に基づき、公社が保有する財産に相当する額を公益目的財産額として、計画的に公益の目的のために支出する計画を、下関市満珠荘にて実施事業として実施するもの。

1. ピラティス教室
2. 陶芸教室
3. プリザーブドフラワー・アレンジメント講座

実施事業等会計

実施事業

(様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	合計	合計		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益				
事業収益	900		900	
受講料	900			
経常収益計	900		900	
(2) 経常費用				
実施事業事業費	3,684		3,684	
2 給料手当	2,437		2,437	
4 退職給付費用	97		97	
5 法定福利費	146		146	
14 消耗品費	540		540	
20 保険料	54		54	
21 諸謝金	390		390	
22 租税公課	20		20	
経常費用計	3,684		3,684	
評価損益等調整前経常増減額	△ 2,784		△ 2,784	
評価損益等計	0		0	
当期経常増減額	△ 2,784		△ 2,784	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0		0	
経常外費用計	0		0	
当期経常外増減額	0		0	
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	△ 2,784		△ 2,784	
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高	△ 2,784		△ 2,784	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0		0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0		0	
III 正味財産期末残高	△ 2,784		△ 2,784	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

平成25年度

そ の 他 会 計 内 訳

事 業 計 画 内 訳 書

収 支 予 算 内 訳 書

火の山地区観光施設（下関市火の山パークウェイ、火の山立体駐車場）

事業計画書

1. 職員構成

職員3名、嘱託職員1名、合計4名をもって火の山地区観光施設（下関市火の山パークウェイ、火の山立体駐車場）の運營業務を行うが、職員2名については、主に下関市火の山ロープウェイ運行業務に従事し、ロープウェイ運行業務に影響がでない範囲内（運休期間等）において、火の山地区観光施設（下関市火の山パークウェイ、火の山立体駐車場）の運營業務に従事することができる。繁忙期においては、日々雇用職員を職員補助として雇用する。

2. 営業時間（※市のイベント等により、開放時間等の変更あり）

下関市火の山パークウェイ・火の山立体駐車場

月 別	パークウェイ(上り)	火の山立体駐車場	パークウェイ(下り)	備 考
	開 放 時 間	閉 鎖 時 間	閉 鎖 時 間	
11月～2月	8:00～21:00	22:00	22:30	
3月～10月	8:00～22:00	23:00	23:30	
1月1日	5:00～21:00	22:00	22:30	元旦 早朝営業

年中無休：天候・路面状況等により通行規制、臨時閉鎖する場合がある。

3. 管理運営

- (1) 関係法令、市の条例及び規則等を遵守するとともに、人命を預かる公共輸送と公共施設として、安全性の向上に努め、施設等を常に良好な状態において管理し、施設の設置目的を効果的・効率的に達成できるように取り組む。
- (2) 火の山公園内にある公共の観光施設として、利用者に対する良質なサービスの提供、内容の向上に努め、接客・マナーについても常に好印象を与えるよう職員各自が持っている経験や知識を共有・徹底し、下関市の観光PRに努める。
- (3) 施設等の巡視点検等を実施し、事故や火災等の発生を未然に防止するとともに、利用者の安全・安心の確保及び下関市観光施設の顔として、利用者には喜ばれるように環境の整備、施設の維持保全に努める。
- (4) 下関市、火の山ロープウェイ運行に係わる市の職員と連携し、利用者の安全確保を第一とし、より公共性・公益性の高い業務として、きめ細かな対応、業務実施に努める。
- (5) 施設の機械設備等の保守点検、立体駐車場内の利用車両の把握、警備、監視、清掃、環境整備及びパークウェイ巡回、監視、清掃等の火の山地区観光施設の維持管理については、効率・効果的に実施し、故障等トラブル発生時は直ちに応急措置を実施し、施設の安全性と利用者の利便性の向上に努める。
- (6) 施設の立地条件等の特性を配慮した天候変化や路面状況の変化等の情報収集を適時行い、下関市や関係諸施設との連絡を密にして、利用者の安全を第一にパークウェイ通行規制等、秩序ある維持管理を実施する。
- (7) 施設の消耗品等の補充・交換は、利用者の利便性を常に意識し、環境整備としての適切な管理を行う。
- (8) 施設で使用する電気・水道等の省エネルギー化、コスト削減、環境負荷の低減を意識し、サービスの低下を招かないよう工夫した施設管理に努める。
- (9) 下関市に提出した緊急対応マニュアルに基づき、事故・災害等発生時に即時的確な対応が出来る体制を構築し、必要に応じたマニュアルや体制の追加・変更を実施し、施設の安全管理に取り組む。

4. 設備管理

- (1) 利用者の安全確保を第一に、施設の照明設備、誘導標識、防災設備、車両監視設備等の安全設備に対して、巡回点検を的確に実施し、危険箇所・修繕箇所の早期発見、施設の維持保全に努める。
- (2) 施設内外、パークウェイの点検巡回清掃を実施、トイレ等は衛生管理に重点をおき、利用者への快適な施設提供に努める。
- (3) 施設・設備点検チェックリストを活用し、施設内外の巡視点検、日常点検を行い、事故等の未然防止を図る。
- (4) 設備故障発生時等の応急措置、修繕箇所の早期発見等、下関市への報告を的確に実施し、設備の管理・維持保守に努める。
- (5) 防火・防災・避難誘導設備等の機能を的確に発揮できるよう設備の知識・操作習得を行い、万全な管理体制構築に努める。

その他会計

施設管理 1. 火の山地区観光施設

(様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	受託事業	受託事業		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	13,835	13,717	118	
施設管理料	13,835	13,717	118	
経常収益計	13,835	13,717	118	
(2) 経常費用				
火の山地区観光施設事業費	12,715	12,525	190	
2 給料手当	9,663	9,622	41	
3 臨時雇賃金	612	490	122	
4 退職給付費用	253	259	△6	
5 法定福利費	1,473	1,451	22	
8 旅費交通費	90	91	△1	
14 消耗品費	0	20	△20	
22 租税公課	624	592	32	
火の山地区観光施設管理費	1,120	1,192	△72	
本社費	1,120	1,192	△72	
経常費用計	13,835	13,717	118	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

下関市火の山ロープウェイ

事業計画書

1. 職員構成

職員2名をもって、火の山地区観光施設（下関市火の山ロープウェイ）の運行業務を行う。なお、ロープウェイ運行業務に影響がでない範囲内（運休期間等）において、火の山地区観光施設（下関市火の山パークウェイ、火の山立体駐車場）の運営業務に従事することができる。

2. 営業時間（※市のイベント等により運行時間等の変更あり）

下関市火の山ロープウェイ 運行日数年間 194日（注）

月 別	運 行 時 間
4月1日(月)～11月24日(日)	10:00～17:00（夜間運行時：花火大会夜間運行8/13(火)10:00～21:00、夏季週末夜間運行8/3(土)、8/10(土)、8/17(土)、8/24(土)、8/31(土) 10:00～21:00、中秋の名月夜間運行9/19(木)10:00～21:00)
3月20日(木)～3月31日(月)	

定休日（予定）：毎週火、水曜日（祝日及び一部運転予定日除く）（注 市観光施設課による平成25年度ロープウェイ運行日程（予定）に基づくもので、平成25年度に実施される市の運行計画に対応するため、運行日程等を変更する場合がある。）

3. 管理運営

- （1）関係法令、市の条例及び規則等を遵守するとともに、人命を預かる公共輸送と公共施設として、安全性の向上に努め、施設等を常に良好な状態において管理し、施設の設置目的を効果的・効率的に達成できるように取り組む。
- （2）火の山公園内にある公共の観光施設として、利用者に対する良質なサービスの提供、内容の向上に努め、接客・マナーについても常に好印象を与えるよう職員各自が持っている経験や知識を共有・徹底し、下関市の観光PRに努める。
- （3）施設等の巡視点検等を実施し、事故や火災等の発生を未然に防止するとともに、利用者の安全・安心の確保及び下関市観光施設の顔として、利用者には喜ばれるように環境の整備、施設の維持保全に努める。
- （4）下関市、運行に係わる市の職員と連携し、利用者の安全確保を第一とし、より公共性・公益性の高い業務として、きめ細かな対応、業務実施に努める。
- （5）ロープウェイの機械設備等の保守点検等施設の維持管理については、効率・効果的に実施し、故障等トラブル発生時は、直ちに応急措置を実施し、施設の安全性と利用者の利便性の向上に努める。
- （6）施設の立地条件等の特性を配慮した天候変化や路面状況の変化等の情報収集を適時行い、下関市や関係諸施設との連絡を密にして、利用者の安全を第一にロープウェイの運休等、秩序ある維持管理を実施する。
- （7）施設で使用する電気・水道等の省エネルギー化、コスト削減、環境負荷の低減を意識し、サービスの低下を招かないよう工夫した施設管理に努める。
- （8）下関市に提出した緊急対応マニュアルに基づき、事故・災害等発生時に即時的確な対応が出来る体制を構築し、必要に応じたマニュアルや体制の追加・変更を実施し、施設の安全管理に取り組む。
- （9）ロープウェイ乗客に、より快適な利用をしていただけるよう更なる運転技術の向上に努め、ロープウェイ営業スタッフ研修時に、設備説明、応急救助装置等乗客の安全確保に関する指導、営業訓練時運転業務等協力し、観光施設としての向上に努める。

4. 設備管理

- （1）利用者の安全確保を第一に、施設の照明設備、誘導標識、防災設備等の安全設備に対して、巡回点検を的確に実施し、危険箇所・修繕箇所の早期発見、施設の維持保全に努める。
- （2）施設・設備点検チェックリストを活用し、施設内外の巡視点検、日常点検を行い、事故等の未然防止を図る。
- （3）ロープウェイ運行に係わる機械設備等の保守は、各種法令、整備細則等に基づく点検を実施し、円滑運行のための保守整備、安全運転を徹底、トラブル等発生防止に努め、緊急時に備えた応急救助装置点検、操作訓練等実施し対応体制に万全を期す。
- （4）設備故障発生時等の応急措置、修繕箇所の早期発見等、下関市への報告を的確に実施し、設備の管理・維持保守に努める。
- （5）防火・防災・避難誘導設備等の機能を的確に発揮できるよう設備の知識・操作習得を行い、万全な管理体制構築に努める。

その他会計

施設管理 2. 下関市火の山ロープウェイ

(様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	受託事業	受託事業		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	5,872	5,759	113	
施設管理料	5,872	5,759	113	
経常収益計	5,872	5,759	113	
(2) 経常費用				
下関市火の山ロープウェイ事業費	5,405	5,253	152	
2 給料手当	4,353	4,226	127	
4 退職給付費用	138	139	△ 1	
5 法定福利費	647	628	19	
14 消耗品費	0	10	△ 10	
22 租税公課	267	250	17	
下関市火の山ロープウェイ管理費	467	506	△ 39	
本社費	467	506	△ 39	
経常費用計	5,872	5,759	113	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

下関市勤労青少年ホーム

事業計画書

1. 職員構成

職員3名をもって管理運営を行う。

2. 営業

- | | | |
|----------|------------------|-------------|
| (1) 開館時間 | 月曜日及び火曜日 | 13:00～21:00 |
| | 水曜日から土曜日まで | 9:00～21:00 |
| | 日曜日及び祝日(1月1日を除く) | 9:00～17:00 |
| (2) 休館日 | 12月28日から翌年1月4日まで | |

3. 管理運営

- (1) 市内で働く青少年が余暇を有意義に活用し、充実した職業生活ができるよう文化講座の団体の誘致に努める。
- (2) 勤労青少年及び一般市民の交流を図り広く学習機会を提供し福祉の増進と健全な育成を資すること、また、地域の方々の交流の場として、文化講座を14講座開催する。
- (3) 平日の午前・午後の時間帯に部屋の稼働率を上げるため卓球教室、幼児を対象に、親子すくすく音楽教室を開拓し、増収・増員に努める。
- (4) グループ・クラブ活動に対して、合同委員会の開催及び発表会行事の補佐をし、施設利用が円滑に行えるように努める。
- (5) レクリエーションの指導等の健全な活動の場を与え、自主的な社会性を育み、生産性の向上を図る支援に努める。
- (6) 若者の出会いの場及び勤労青少年と地域との交流の場を提供し、自主事業を企画・開催し施設の宣伝及び利用者の増加に努める。
- (7) 40周年記念で勤労青少年登録団体と連携して、催し物を企画し集客に努める。
- (8) 文化講座等の自主事業により勤労青少年の利用促進を図るとともに勤労青少年登録者を募集し、団体活動に繋がるように努める。
- (9) 利用者へのアンケートを行い、要望の内容を下関市へ報告するとともに、可能な限り施設運営へ反映するように努める。
- (10) 安全な施設維持のため、施設内の巡視点検を行い、危険要因を排除し、人身事故火災、盗難等の防止のための安全確保に努める。
- (11) 消防署と連携を図り、定期的に消火訓練や避難訓練を実施する。
- (12) 職員の資質及びサービスの向上を図るため、施設内でのミーティングを実施、施設間の連携で知識の習得、技術の向上に努める。また、接遇研修等の各種研修会へ参加する。
- (13) 事故や災害等が発生した場合、責任者の指示のもと緊急対応マニュアルにより応急処置等を行う。

4. 設備管理

- (1) 定期清掃、機械警備、冷暖房設備保守点検、貯水槽清掃・害虫駆除等の衛生管理、消防用設備保守点検を、それぞれ業務委託により行う。
- (2) 館内の照明設備、軽運動室等について、適時点検を行い、利用者の安全確保に努める。

その他会計

施設管理 3. 下関市勤労青少年ホーム
(様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度			前年度			増減	備考
	指定管理事業	付随する自主事業	合計	指定管理事業	付随する自主事業	合計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
事業収益	22,377	155	22,532	22,559	0	22,559	△ 27	
施設管理料	22,377	0	22,377	22,559	0	22,559	△ 182	
受講料	0	155	155	0	0	0	155	
雑収益	0	2	2	0	0	0	2	
受取利息	0	1	1	0	0	0	1	
雑収益	0	1	1	0	0	0	1	
経常収益計	22,377	157	22,534	22,559	0	22,559	△ 25	
(2) 経常費用								
下関市勤労青少年ホーム事業費	19,682	153	19,835	21,847	0	21,847	△ 2,012	
2 給料手当	11,727	0	11,727	13,316	0	13,316	△ 1,589	
4 退職給付費用	391	0	391	398	0	398	△ 7	
5 法定福利費	1,825	0	1,825	2,062	0	2,062	△ 237	
8 旅費交通費	57	0	57	77	0	77	△ 20	
9 通信運搬費	171	0	171	175	0	175	△ 4	
12 手数料	19	0	19	61	0	61	△ 42	
14 消耗品費	135	49	184	253	0	253	△ 69	
15 修繕費	365	0	365	365	0	365	0	
16 印刷製本費	39	0	39	10	0	10	29	
18 光熱水料費	2,520	0	2,520	2,538	0	2,538	△ 18	
19 賃借料	101	10	111	117	0	117	△ 6	
20 保険料	7	0	7	7	0	7	0	
21 諸謝金	0	33	33	0	0	0	33	
22 租税公課	722	5	727	789	0	789	△ 62	
25 委託費	1,569	0	1,569	1,645	0	1,645	△ 76	
27 行事費	34	0	34	34	0	34	0	
30 原材料費	0	56	56	0	0	0	56	
下関市勤労青少年ホーム管理費	2,695	4	2,699	712	0	712	1,987	
本社費	2,695	4	2,699	712	0	712	1,987	
経常費用計	22,377	157	22,534	22,559	0	22,559	△ 25	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	
2. 経常外増減の部								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替額								
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
一般正味財産期首残高								
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高								
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

唐戸市場駐車場

事業計画書

1. 職員構成

職員4名をもって管理運営を行う。

但し、繁忙時（年末・年始、関門海峡花火大会、ゴールデンウィーク）等には、場内の安全管理と渋滞緩和のため、日々雇用職員を雇用して対応する。

2. 営業時間

入出場時間 0 : 0 0 ~ 2 4 : 0 0 （年中無休・24時間営業）

3. 管理運営

- (1) 下関市との連携を図り、管理運営に万全を期する。
- (2) 利用客に不快感を与えないよう接遇・サービス向上に努める。
- (3) 公金及び有価証券等の厳正なる管理に努める。
- (4) 利用車両増による場内渋滞を緩和するため、事前精算等を実施することにより、入出庫の円滑化に努める。
- (5) 施設内の巡視点検を行い、人身事故・火災・盗難等の防止のための安全確保に努める。
- (6) 職員の資質向上のため、接遇研修等の各種研修会へ参加する。
- (7) 事故や災害が発生した場合、責任者の指示のもと緊急対応マニュアルによる対応を行なう。
- (8) パンフレットを設置して、利用者へ下関市の広報宣伝に努める。
- (9) 市外からの観光目的の利用者のため、市内全域のイベント・行事の情報を集めて周知する努力をする。
- (10) 場内及び周辺の清掃を適時行い、環境美化に努める。
- (11) 下関市と連携を図り、消火訓練及び避難訓練を実施する。

4. 設備管理

- (1) 清掃業務による環境整備、夜間機械警備の安全管理を業務委託により行う。
- (2) 場内の自動精算機等の点検を常時実施し、業務に支障の無いように努める。
- (3) 施設点検を行い安全管理に努める。

その他会計

施設管理 4. 唐戸市場駐車場
(様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	受託事業	受託事業		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	27,900	29,131	△ 1,231	
施設管理料	27,900	29,131	△ 1,231	
経常収益計	27,900	29,131	△ 1,231	
(2) 経常費用				
唐戸市場駐車場事業費	24,695	26,444	△ 1,749	
2 給料手当	15,515	17,580	△ 2,065	
3 臨時雇賃金	612	50	562	
4 退職給付費用	521	531	△ 10	
5 法定福利費	2,441	2,708	△ 267	
8 旅費交通費	37	6	31	
9 通信運搬費	79	79	0	
14 消耗品費	373	404	△ 31	
15 修繕費	84	84	0	
16 印刷製本費	2,462	2,385	77	
19 賃借料	26	26	0	
20 保険料	50	50	0	
22 租税公課	979	1,046	△ 67	
25 委託費	1,516	1,495	21	
唐戸市場駐車場管理費	3,205	2,687	518	
本社費	3,205	2,687	518	
経常費用計	27,900	29,131	△ 1,231	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

その他会計
 施設管理 5. 下関市長府体育館
 (様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	指定管理事業	指定管理事業		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	18,489	18,672	△ 183	
施設管理料	18,489	18,672	△ 183	
経常収益計	18,489	18,672	△ 183	
(2) 経常費用				
下関市長府体育館事業費	18,387	18,328	59	
2 給料手当	11,607	11,480	127	
4 退職給付費用	391	398	△ 7	
5 法定福利費	1,825	1,790	35	
8 旅費交通費	17	18	△ 1	
9 通信運搬費	156	158	△ 2	
14 消耗品費	72	93	△ 21	
15 修繕費	1,000	1,000	0	
16 印刷製本費	32	43	△ 11	
17 燃料費	3	0	3	
18 光熱水料費	1,664	1,667	△ 3	
19 賃借料	26	95	△ 69	
20 保険料	100	108	△ 8	
22 租税公課	718	689	29	
25 委託費	776	789	△ 13	
下関市長府体育館管理費	102	344	△ 242	
本社費	102	344	△ 242	
経常費用計	18,489	18,672	△ 183	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

下関市市民プール（長府扇町運動広場）

事業計画書

1. 職員構成

職員1名、嘱託職員1名をもって市民プールと長府扇町運動広場の管理運営を行う。

2. 営業

- (1) 下関市市民プール開催期間 7月13日から8月31日まで（50日間）
- (2) 下関市市民プール営業時間 9：30～18：30
- (3) 長府扇町運動広場使用時間 9：00～17：00
- (4) 長府扇町運動広場休場日 12月28日から翌年1月4日まで

3. 管理運営

- (1) 下関市体育施設の設置目的や公共施設であることを十分認識し、市民の福利厚生向上に寄与することに努める。
- (2) 安全対策を重視し、最少の経費で最大の効果をあげるため、効率的な運営及び経費節減可能な方策を考案し、下関市と連携して業務を遂行する。
- (3) 監督員、監視員に対する安全講習会を実施し、万全な知識及び技術を習得させ、万一の水難事故に対し、迅速かつ適切な処置を行うことのできる体制を構築する。
- (4) プール内への注水、水質検査、薬品等の投入等管理を適切に行い、常時快適な環境、水質基準の維持管理に努める。
- (5) ヨーヨー釣り大会等の自主事業を企画開催し、施設の宣伝及び利用者の増加に努める。
- (6) 安全な施設維持のため施設内外の巡視点検を行い、危険要因を排除し、人身事故、火災、盗難等の防止のための安全確保に努める。
- (7) 利用者に対する適切な接遇を徹底し、より多くの市民に親しまれるように努める。
- (8) 利用者への好感度維持の為、定例会議、接遇研修及び各種研修会に参加し、職員の資質向上に努める。
- (9) 事故や災害が発生した場合、責任者指示のもと緊急連絡網、緊急対応マニュアルにより応急処置等を行う。

4. 設備管理

- (1) プール循環ろ過機の運転・保守点検、水質検査、浄化槽維持管理、場内外除草、開場及び閉場時の清掃業務及び夜間機械警備による安全管理等については、業務委託により行う。
- (2) 開場中に監督員、監視員、窓口員、看護師を雇用し、業務遂行や安全管理について万全を期する。
- (3) 場内外の施設等を適時点検し、不良箇所の早期発見により事故防止に努める。
- (4) 長府扇町運動広場内の雑草等の環境整備、浄化槽の維持管理及び衛生管理を委託業者により行う。
- (5) 長府扇町運動広場内のトイレ、設置している体育器具及びグラウンド整備器具等を適時点検し、施設の維持管理に努める。

その他会計
 施設管理 6. 下関市市民プール
 (様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	指定管理事業	指定管理事業		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	42,834	42,942	△ 108	
施設管理料	42,834	42,942	△ 108	
経常収益計	42,834	42,942	△ 108	
(2) 経常費用				
下関市市民プール事業費	37,634	37,878	△ 244	
2 給料手当	5,749	5,574	175	
3 臨時雇賃金	8,089	7,799	290	
4 退職給付費用	131	133	△ 2	
5 法定福利費	921	893	28	
9 通信運搬費	134	111	23	
12 手数料	183	393	△ 210	
14 消耗品費	652	784	△ 132	
15 修繕費	1,000	1,000	0	
16 印刷製本費	43	108	△ 65	
18 光熱水料費	5,780	6,337	△ 557	
19 賃借料	26	26	0	
20 保険料	271	287	△ 16	
22 租税公課	858	734	124	
25 委託費	13,797	13,699	98	
下関市市民プール管理費	5,200	5,064	136	
本社費	5,200	5,064	136	
経常費用計	42,834	42,942	△ 108	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

下関市彦島体育館（下関市彦島庭球場・彦島地区公園多目的広場）

事業計画書

1. 職員構成

職員3名をもって管理運営を行なう。

2. 営業

- | | | |
|----------|------------------|---------------|
| (1) 使用時間 | 日曜日・祝日 | 9:00から17:00まで |
| | 月曜日～土曜日 | 9:00から22:00まで |
| (2) 休館日 | 12月28日から翌年1月4日まで | |

3. 管理運営

(1) 下関市彦島体育館の設置目的や公共施設であることを十分認識し、下関市の施策を鑑みて、同調・協力する運営を基調とする。市民が余暇を楽しみながら、心身とも健康の向上を図ることができる活気のある施設を提供する。

また、より多くの市民に利用していただき喜んでいただけるよう、スポーツ振興を拠点としながらも、広い観点で施設価値を引き出せるよう運営努力する。

(2) 幼児から中高年層まで幅広い世代を対象とした自主事業を実施し、市民との交流を図ることにより施設のPR、利用の増加に努める。

(3) 利用者の利便性向上を図るため、下関市公共施設予約システムを効率的に活用するとともに、その普及にも努める。

また、年間主要行事の予定調整について、滞りなく完結できるよう努める。

(4) 研修会への参加、職員同士による情報共有等の自己啓発を行うことにより、常に職員の資質向上を目指す。

(5) 利用者の要望や各種スポーツに対するニーズを把握するため、アンケート調査等を行い、施設運営へ反映するように努める。

(6) 地域自治会、住民、関係施設等への情報の発信・交換により、施設の認知及び利用の向上に努める。

(7) 施設内の巡視点検を常時行い、安全確保、異常の早期発見、事故等の防止に努める。

(8) 不測の事態に備え、また、事故や災害が発生した場合を想定し、所轄消防署と連携を図りながら、定期的に消火訓練や避難訓練を実施するとともに、緊急対応マニュアルによる最善の応急処置等を行えるよう努める。

4. 設備管理

(1) 業務委託による体育館無人時の機械警備、施設清掃（ワックス掛け、窓・屋上清掃）、貯水槽の衛生管理、消防用設備保守点検の施設管理を実施する。

(2) 体育館、庭球場及び多目的広場に設置している器具備品等については、適時点検を実施する。前項業務を含め、不良箇所の早期発見に繋げ、安全の確保及び使用に支障が出ないよう努める。

その他会計
施設管理 7. 下関市彦島体育館
(様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度			前年度			増減	備考
	指定管理 事業	付随する 自主事業	合計	指定管理 事業	付随する 自主事業	合計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
事業収益	21,845	636	22,481	21,969	0	21,969	512	
施設管理料	21,845	0	21,845	21,969	0	21,969	△124	
受講料収入	0	636	636	0	0	0	636	
雑収益	0	2	2	0	0	0	2	
受取利息	0	1	1	0	0	0	1	
雑収益	0	1	1	0	0	0	1	
経常収益計	21,845	638	22,483	21,969	0	21,969	514	
(2) 経常費用								
下関市彦島体育館事業費	21,217	634	21,851	21,217	0	21,217	634	
2 給料手当	11,549	0	11,549	11,437	0	11,437	112	
4 退職給付費用	391	0	391	398	0	398	△7	
5 法定福利費	1,825	0	1,825	1,790	0	1,790	35	
8 旅費交通費	47	0	47	47	0	47	0	
9 通信運搬費	139	0	139	139	0	139	0	
14 消耗品費	79	60	139	100	0	100	39	
15 修繕費	1,000	0	1,000	1,000	0	1,000	0	
16 印刷製本費	23	0	23	46	0	46	△23	
18 光熱水料費	4,477	0	4,477	4,505	0	4,505	△28	
19 賃借料	26	40	66	147	0	147	△81	
20 保険料	100	56	156	108	0	108	48	
21 諸謝金	0	452	452	0	0	0	452	
22 租税公課	717	26	743	687	0	687	56	
25 委託費	844	0	844	813	0	813	31	
下関市彦島体育館管理費	628	4	632	752	0	752	△120	
本社費	628	4	632	752	0	752	△120	
経常費用計	21,845	638	22,483	21,969	0	21,969	514	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	
2. 経常外増減の部								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替額								
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
一般正味財産期首残高								
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高								
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

下関市立美術館

事業計画書

1. 職員構成

職員3名、嘱託職員2名、合計5名をもって管理運営を行う。

2. 営業時間

(1) 開館時間 9:30～17:00 (入館は、16:30まで)

(2) 休館日 原則として、毎週月曜日とする。

また、1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日までと、
下関市教育委員会が認めた臨時休館日とする。

3. 管理運営

(1) 観覧料の徴収事務、美術館入館者への受付案内、館内展示品の監視、図録の販売及び図録売払
代金徴収事務等の業務を行う。

(2) 公金及び観覧券の厳正なる管理に努める。

(3) 近隣の美術館及び博物館の情報を収集し、必要に応じて来館者に案内出来るよう努める。

(4) 展示物の知識を深め、適切な説明および対応が出来るよう努める。

(5) 図録の販売については、適性な在庫管理を行うとともに、各種展覧会に応じた陳列等を行い、
販売促進に努める。

(6) 接遇については、入館者に対して不快感を与えることのないよう特段の注意を払い、状況に応
じた適切な対応に努める。

(7) 美術館との連携を図り、各種展覧会に応じた人員配置を行い、円滑に業務を遂行する。

(8) 受託業務範囲内において、巡回点検等を実施し、人身事故、火災・盗難等防止のための監視体
制を強化するとともに、入館者への安全確保の向上に努める。

(9) 美術館が実施する消火訓練等に協力し、非常時の対応確認を行い、災害に備えるように努める。

(10) 職員の資質向上のため、各関係機関が開催する接遇研修等に参加し、業務に反映させるよう
努める。

(11) 事故や災害が発生した場合、美術館館長の指示のもと、各職員が行動する体制を作る。

その他会計

施設管理 8. 下関市立美術館

(様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	受託事業	受託事業		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	20,076	21,014	△ 938	
施設管理料	20,076	21,014	△ 938	
経常収益計	20,076	21,014	△ 938	
(2) 経常費用				
下関市立美術館事業費	19,308	19,451	△ 143	
2 給料手当	15,172	15,585	△ 413	
4 退職給付費用	391	0	391	
5 法定福利費	2,643	2,674	△ 31	
8 旅費交通費	21	20	1	
9 通信運搬費	79	79	0	
12 手数料	14	104	△ 90	
14 消耗品費	50	50	0	
19 賃借料	26	26	0	
22 租税公課	912	913	△ 1	
下関市立美術館管理費	768	1,563	△ 795	
本社費	768	1,563	△ 795	
経常費用計	20,076	21,014	△ 938	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

9. 下関市勤労者総合福祉センター

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度		増減	備考
	指定管理事業	前年度 指定管理事業		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
事業収益	24,998	25,239	△ 241	
施設管理料	24,998	25,239	△ 241	
経常収益計	24,998	25,239	△ 241	
(2) 経常費用				
下関市勤労者総合福祉センター事業費	19,909	23,987	△ 4,078	
2 給料手当	9,386	13,218	△ 3,832	
4 退職給付費用	261	398	△ 137	
5 法定福利費	1,475	2,077	△ 602	
8 旅費交通費	77	81	△ 4	
9 通信運搬費	152	148	4	
11 広告宣伝費	13	13	0	
12 手数料	12	12	0	
14 消耗品費	177	199	△ 22	
15 修繕費	190	190	0	
16 印刷製本費	12	46	△ 34	
17 燃料費	5	5	0	
18 光熱水料費	3,230	3,144	86	
19 賃借料	139	154	△ 15	
20 保険料	12	12	0	
22 租税公課	584	785	△ 201	
23 支払負担金	22	17	5	
25 委託費	4,127	3,453	674	
27 行事費	35	35	0	
下関市勤労者総合福祉センター管理費	5,089	1,252	3,837	
本社費	5,089	1,252	3,837	
経常費用計	24,998	25,239	△ 241	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

長府庭園

事業計画書

1. 職員構成

職員3名をもって管理運営を行う。

2. 営業

- (1) 開園時間 9:00～17:00
- (2) 休業日 12月28日から翌年1月4日まで

3. 管理運営

- (1) 公共の施設である庭園の設置目的と指定管理者の意義を認識し、お客様に対し安心安全の確保・サービスの提供及び効率を向上させることに努める。
- (2) お客様に対してはおもてなしの心で接し、ゆったりとした空間の中で、四季折々の木々花々の美しさを感じ、楽しんで頂けるように努める。
- (3) 開園20周年を迎えるにあたり、長府観光協会にも協力をしていただき、イベント等を開催し、お客様の増員に努める。
- (4) 書院及び茶室を有効に活用して頂けるように施設のPRに努める。
- (5) 歳は年間を通じて市民ギャラリー等としてふさわしいものを誘致し、お客様の増員に努める。
- (6) お客様より要請があれば、職員が説明・案内を行いサービス向上に努める。
- (7) 地域との連携を図り、下関市が主催する行事や地域行事等への参加、協力を積極的に努める。
- (8) 「孫文蓮」の開花に伴い、観賞会を実施、古布あそび・ひな飾り展等も自主企画を実施し、下関市の広報誌、報道関係等に情報提供することで、市民や周辺地域の方々への周知徹底を図り、お客様の増員に努める。
- (9) アンケートの実施を行いお客様の声を聞くことにより、要望等に応えるように努める。
- (10) 施設の安全維持のため施設内の巡視点検を行い、危険要因を排除し、人身事故、火災盗難防止の為に安全確保に努める。
万が一事故や災害が発生した場合、緊急対応マニュアルに沿った連絡をすばやく行い応急処置等を行う。
- (11) 職員資質向上のため、接遇研修等の開催や各種研修会等へ参加する。
- (12) 下関市が「しものせきエコマネジメントプラン」に基づく環境方針を制定していることを考慮し、省エネルギー、省資源及び廃棄物減量などの環境への負荷低減を図るよう、職員は基よりお客様、第三者委託業者にも指導の徹底を図る。

4. 設備管理

- (1) 日常清掃及び環境整備、中央監視装置保守や夜間機械警備の安全管理、また、庭園内の美しい景観を保つ為の維持管理を業務委託により行う。

その他会計

施設管理 10. 長府庭園

(様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度			前年度			増減	備考
	指定管理 事業	付随する 自主事業	合計	指定管理 事業	付随する 自主事業	合計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
事業収益	37,500	215	37,715	37,694	0	37,694	21	
施設管理料	37,500	0	37,500	37,694	0	37,694	△194	
商品販売収益	0	200	200	0	0	0	200	
販売手数料	0	15	15	0	0	0	15	
雑収益	0	2	2	0	0	0	2	
受取利息	0	1	1	0	0	0	1	
雑収益	0	1	1	0	0	0	1	
経常収益計	37,500	217	37,717	37,694	0	37,694	23	
(2) 経常費用								
長府庭園事業費	35,433	213	35,646	35,522	0	35,522	124	
2 給料手当	11,561	0	11,561	11,621	0	11,621	△60	
4 退職給付費用	391	0	391	398	0	398	△7	
5 法定福利費	1,825	0	1,825	1,790	0	1,790	35	
8 旅費交通費	30	0	30	31	0	31	△1	
9 通信運搬費	129	0	129	151	0	151	△22	
11 広告宣伝費	40	7	47	32	0	32	15	
12 手数料	36	0	36	44	0	44	△8	
14 消耗品費	332	100	432	300	0	300	132	
15 修繕費	250	0	250	250	0	250	0	
16 印刷製本費	503	0	503	510	0	510	△7	
18 光熱水料費	3,150	0	3,150	2,987	0	2,987	163	
19 賃借料	88	2	90	281	0	281	△191	
20 保険料	6	0	6	6	0	6	0	
21 諸謝金	35	60	95	0	0	0	95	
22 租税公課	717	4	721	691	0	691	30	
25 委託費	16,340	0	16,340	16,430	0	16,430	△90	
29 商品仕入	0	40	40	0	0	0	40	
長府庭園管理費	2,067	4	2,071	2,172	0	2,172	△101	
本社費	2,067	4	2,071	2,172	0	2,172	△101	
経常費用計	37,500	217	37,717	37,694	0	37,694	23	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	
2. 経常外増減の部								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替額								
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
一般正味財産期首残高								
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高								
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

下関市ふれあい健康ランド

事業計画書

1. 職員構成

職員 9 名、嘱託職員 3 名及び日々雇用職員をもって管理運営を行う。

2. 営業時間

- (1) 開場時間 10:00～19:00
- (2) 休場日 水曜日（水曜日が祝日の場合は、翌日）
12月29日から翌年1月3日まで

3. 管理運営

- (1) 安全確保を最優先課題とし、人身事故を未然に防止するとともに、関係法令に基づいた施設管理を徹底して行うほか、緊急時における初期対応・関係機関への通報を適切かつ冷静に行う。
- (2) 幅広い世代の利用動機を高め、お客様の底辺拡大を目的とした自主事業及び自主企画事業を年間を通じて実施する。
 - ①自主事業：水泳教室、運動教室、リトミック教室、囲碁大会市長杯、介護予防教室（下関市より業務を受託し業務仕様書に基づき実施する）
 - ②自主企画事業：園児の絵画展覧会、市民の一日健康相談
- (3) 夏休み期間中の休場日に臨時営業を行いサービスの向上を図る。
- (4) 水泳用品をはじめ、オリジナルタオル、下関の特産品、地元野菜などを取り揃えた売店営業を行う。また、1階ロビーに清涼飲料水や野菜ジュース、乳飲料、アイスクリームなど健康に配慮した商品の自動販売機やマッサージチェア、足つぼマッサージ機を設置し、お客様へのサービス向上を図る。
- (5) 個人情報保護に関する法律及び下関市個人情報保護条例等、関係法令を遵守するとともに、一般に公開されていない情報の保護についても適正に管理する。
- (6) 管理運営全般に関する意見交換・情報交換など下関市との密接な連携により、運営方針についての共通認識を持ち、効率的・効果的な施設運営を図る。
- (7) 能力向上を目的とした内部研修や専門知識・技術の習得を目的とした外部研修を行うほか、避難誘導訓練・心肺蘇生などの救急救命訓練を行い、職員の資質向上を図る。
- (8) トラブルを未然に防止するため、設備機器の不備や説明の不備など、あらゆる面から想定される発生要因を見出し、防止対策を講じる。

4. 設備管理

- (1) 温水プール・浴場・建築物及び敷地の維持管理については、マニュアルに基づく日々の点検により適正に管理する。
- (2) 高温水設備運転保守・法律に基づく検査業務など、専門的な知識・技術・器具等を必要とする業務については、専門業者に委託し、管理に万全を期する。

その他会計
 施設管理 11. 下関市ふれあい健康ランド
 (様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度			前年度			増減	備考
	指定管理 事業	付随する 自主事業	合計	指定管理 事業	付随する 自主事業	合計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
事業収益	121,000	7,478	128,478	121,000	360	121,360	7,118	
施設管理料	121,000	0	121,000	121,000	0	121,000	0	
介護予防事業収益	0	360	360	0	360	360	0	
受講料	0	7,118	7,118	0	0	0	7,118	
雑収益	0	2	2	0	0	0	2	
受取利息	0	1	1	0	0	0	1	
雑収益	0	1	1	0	0	0	1	
経常収益計	121,000	7,480	128,480	121,000	360	121,360	7,120	
(2) 経常費用								
下関市ふれあい健康ランド事業費	108,972	7,470	116,442	109,738	360	110,098	6,344	
2 給料手当	40,375	0	40,375	42,481	0	42,481	△ 2,106	
3 臨時雇賃金	3,091	0	3,091	2,482	0	2,482	609	
4 退職給付費用	1,172	0	1,172	1,459	0	1,459	△ 287	
5 法定福利費	6,329	0	6,329	6,572	0	6,572	△ 243	
8 旅費交通費	338	47	385	307	0	307	78	
9 通信運搬費	250	4	254	224	0	224	30	
11 広告宣伝費	0	22	22	0	0	0	22	
12 手数料	122	6	128	1,767	0	1,767	△ 1,639	
13 消耗什器備品費	0	222	222	0	0	0	222	
14 消耗品費	3,653	274	3,927	4,049	253	4,302	△ 375	
15 修繕費	3,150	105	3,255	3,150	0	3,150	105	
16 印刷製本費	867	0	867	868	0	868	△ 1	
17 燃料費	6	0	6	6	0	6	0	
18 光熱水料費	23,739	0	23,739	23,739	0	23,739	0	
19 賃借料	539	2,772	3,311	564	101	665	2,646	
20 保険料	284	345	629	434	6	440	189	
21 諸謝金	0	3,314	3,314	0	0	0	3,314	
22 租税公課	2,711	191	2,902	2,680	0	2,680	222	
23 支払負担金	8	0	8	172	0	172	△ 164	
24 報酬	0	24	24	0	0	0	24	
25 委託費	22,189	0	22,189	18,784	0	18,784	3,405	
28 研修費	149	144	293	0	0	0	293	
下関市ふれあい健康ランド管理費	12,028	10	12,038	11,262	0	11,262	776	
本社費	12,028	10	12,038	11,262	0	11,262	776	
経常費用計	121,000	7,480	128,480	121,000	360	121,360	7,120	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	
2. 経常外増減の部								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替額								
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
一般正味財産期首残高								
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高								
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

長府毛利邸

事業計画書

1. 職員構成

職員3名・嘱託職員1名をもって管理運営を行う。

2. 営業

(1) 利用時間 9:00～17:00

(2) 休業日 12月28日から翌年1月4日まで

3. 管理運営

(1) 下関市の管理下にある事業所として規約を遵守し、正しい業務の遂行、効率的・効果的な予算の執行、環境への負担軽減、個人情報取り扱い等、下関市と連携し適正に行っていく。また、空調・熱源・照明機器等の節減管理を徹底し、効率的な業務運営を行う。

(2) 白壁に囲まれた邸内の歴史的・文化的価値のある武家屋敷造りの母屋や日本庭園の造形と四季折々の趣が味わえるよう、日常の清掃整備や樹木の維持管理に努めるとともに、毎日、職員により母屋の各所に季節の山野草を生け、日常の清掃による清潔な場所、豊かな空間や静けさを生かした抹茶の提供、気持ちのよい接遇により、お客様がやすらぎの場として癒しのひと時を過ごせるよう、労力をいとわないおもてなしを心がけ、人が人を呼ぶ施設としてリピーターの増員を図る。

(3) 一般公開15周年を記念し、地元の観光関連と連携した春と秋の催し、観光キャンペーン主催の女子旅・歴女旅に併せた企画、シーモール下関での写真展、和の伝統文化にふれながら教養を高め趣味を深める講座や作品展の開催、庭園の季節の風情を生かした催しなど、地元や下関市の観光関連と連携した企画事業を20件実施し、施設の周知および入場者増員に努める。

(4) 下関市報やそれに伴う広報媒体、マスコミ関係、長府各戸への回覧板、各市へ配布されるフリーペーパー・情報誌等・下関市の観光や施設のホームページ・イベント情報サイトの活用・JR各駅の毛利邸専用掲示コーナー、観光関連施設、観光業者等への積極的な情報発信、また、各所へのパンフレット設置等により、地域はもとより観光客への情報提供にも努め、新鮮な話題の提供および観光スポットとしてアピールする広報宣伝により誘致を図り、幅広い周知と集客に努める。

(5) 2カ所に用意する感想ノートへの記入や定期的なアンケートを実施し、お客様からの要望や意見の把握に努め、可能な限り検討し、施設のあり方や職員の姿勢に反映させる。また、接遇研修や各種研修に積極的に参加し、情報を共有しながら職員の資質の向上や自己啓発を高め、お客様の満足度をあげるサービス向上に努める。

(6) お客様より要請があれば、職員が母屋の説明・案内を行う。また、こども文化パスポート事業の参加や校外学習での質問対応、インターンシップの受け入れなど積極的に行い、歴史的・文化的価値のある施設のよさを伝え、日本文化について学ぶ場としての役割を認識する。

(7) 職員による邸内の巡回を度々行い異常の有無をチェックし、常にお客様の安全確保に努める。

また、定期的に消火設備を点検し災害に備え、万一災害や事故が発生した場合、緊急対応マニュアルに沿った連絡をすばやく行い、報告・連絡・確認を怠りなく実施する。

4. 設備管理

(1) 庭園の樹木等の維持管理、環境整備、水景設備の保守、消防設備保守、夜間及び休業日の機械警備の安全管理を、それぞれ業務委託とする。

(2) 委託業者や工事施行業者への指導・監督体制を強化し、業務終了の都度、報告書の提出を義務付け、管理に万全を期す。

その他会計
 施設管理 12. 長府毛利邸
 (様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度			前年度			増減	備考
	指定管理 事業	付随する 自主事業	合計	指定管理 事業	付随する 自主事業	合計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
事業収益	26,499	2,354	28,853	26,712	0	26,712	2,141	
施設管理料	26,499	0	26,499	26,712	0	26,712	△213	
飲食料収益	0	2,101	2,101	0	0	0	2,101	
商品販売収益	0	253	253	0	0	0	253	
雑収益	0	2	2	0	0	0	2	
受取利息	0	1	1	0	0	0	1	
雑収益	0	1	1	0	0	0	1	
経常収益計	26,499	2,356	28,855	26,712	0	26,712	2,143	
(2) 経常費用								
長府毛利邸事業費	25,129	2,346	27,475	25,342	0	25,342	2,133	
2 給料手当	13,278	0	13,278	13,292	0	13,292	△14	
4 退職給付費用	391	0	391	398	0	398	△7	
5 法定福利費	2,083	0	2,083	2,062	0	2,062	21	
8 旅費交通費	69	0	69	73	0	73	△4	
9 通信運搬費	177	10	187	178	0	178	9	
11 広告宣伝費	69	70	139	69	0	69	70	
12 手数料	24	0	24	34	0	34	△10	
14 消耗品費	509	695	1,204	450	0	450	754	
15 修繕費	210	0	210	302	0	302	△92	
16 印刷製本費	328	0	328	491	0	491	△163	
17 燃料費	20	10	30	0	0	0	30	
18 光熱水料費	1,290	0	1,290	1,025	0	1,025	265	
19 賃借料	26	0	26	279	0	279	△253	
20 保険料	7	0	7	10	0	10	△3	
21 諸謝金	30	280	310	0	0	0	310	
22 租税公課	814	15	829	788	0	788	41	
24 報酬	0	126	126	0	0	0	126	
25 委託費	5,804	0	5,804	5,891	0	5,891	△87	
29 商品仕入	0	1,140	1,140	0	0	0	1,140	
長府毛利邸管理費	1,370	10	1,380	1,370	0	1,370	10	
本社費	1,370	10	1,380	1,370	0	1,370	10	
経常費用計	26,499	2,356	28,855	26,712	0	26,712	2,143	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	
2. 経常外増減の部								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替額								
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
一般正味財産期首残高								
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高								
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

その他会計
 施設管理 13. 粗大ごみ等受付センター
 (様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	受託事業	受託事業		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	45,317	47,703	△ 2,386	
施設管理料	45,317	47,703	△ 2,386	
経常収益計	45,317	47,703	△ 2,386	
(2) 経常費用				
粗大ごみ等受付センター事業費	42,826	44,912	△ 2,086	
2 給料手当	26,011	35,878	△ 9,867	
3 臨時雇賃金	7,020	0	7,020	
4 退職給付費用	651	0	651	
5 法定福利費	4,782	5,914	△ 1,132	
8 旅費交通費	898	28	870	
14 消耗品費	1,476	1,002	474	
22 租税公課	1,988	2,090	△ 102	
粗大ごみ等受付センター管理費	2,491	2,791	△ 300	
本社費	2,491	2,791	△ 300	
経常費用計	45,317	47,703	△ 2,386	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

下関運動公園内7体育施設及び下関市フットサル場

事業計画書

1. 職員構成

職員2名、嘱託職員9名及び日々雇用職員をもって管理運営を行う。

2. 営業

- (1) 利用時間 日曜日・祝日 9:00～17:00
 月曜日～土曜日 9:00～22:00
- (2) 休館日 12月28日～翌年1月4日まで

3. 管理運営

(1) 設置目的に基づいた管理について

「下関市体育施設の設置等に関する条例」等諸規則を遵守し、市民の健康の増進と体育の振興・普及に資するための公共施設であることを十分認識し、平等かつ公平な利用を確保して、利用者が安全かつ快適に利用できるよう適正な管理運営に努める。

(2) 下関市との連携について

適正な管理運営を図るため、下関市と管理運営全般に関する意見交換、情報を共有するなど密接な連携を保ち、運営方針について共通認識を持つことにより、施設の効果的・効率的な活用に取り組む。

(3) 施設の安全・安心確保について

「安全点検マニュアル表」に基づいた管理を徹底し、施設や機器の異常等をいち早く発見することによる危険要因の排除、事故や災害の未然防止・安全確保に努め、万が一事故等が発生した場合は、責任者の指示の下、緊急対応マニュアルにより速やかな対応と適切な処置を行う。

所轄消防署と連携を図り、消防法に基づいた消火訓練及び避難訓練を定期的を実施する。

(4) 施設利用について

利用者に対する接遇を徹底し、広く市民に親しまれる施設になるように努め、周辺地域や市教育機関等に施設利用の発信を行い、利用者の増加を図る。

各施設の予約については、利用者の利便性向上のため、下関市公共予約システムの普及に努める。また、アンケート調査を実施することにより、利用者の声を反映し、充実した施設運営に努める。

(5) 職員の資質向上について

施設内でのミーティングの実施、接遇研修など各種研修会の受講を実施し、職員の資質向上、知識の習得や技術の向上及びサービスの充実を図る。

(6) 自主事業

体育の振興・普及と地域住民との交流を目的とし、施設利用の呼び水として自主事業を実施し、施設PR及び利用者増を図る。

4. 設備管理

(1) 環境の美化及び館内の設備・備品等の点検について

利用者や周辺散策者の安全確保及び美観維持のため、環境整備に努める。

照明設備、体育器具等については、利用者の安全確保と利用に支障が出ないよう適時点検を行う。

(2) 再委託業務について

規定されている定期的な検査・点検等の維持管理については、関係法令を鑑み、専門業者により確実に実施する。

その他会計

施設管理 14. 下関運動公園内7体育施設及び下関市フットサル場
(様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	指定管理事業	受託事業		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	75,580	27,985	47,595	
施設管理料	75,580	27,985	47,595	
経常収益計	75,580	27,985	47,595	
(2) 経常費用				
下関運動公園内7体育施設及び下関市フットサル場事業費	73,371	26,985	46,386	
2 給料手当	23,056	22,053	1,003	
3 臨時雇賃金	3,942	0	3,942	
4 退職給付費用	261	145	116	
5 法定福利費	3,672	3,502	170	
8 旅費交通費	311	0	311	
9 通信運搬費	778	0	778	
14 消耗品費	1,335	0	1,335	
15 修繕費	3,500	0	3,500	
16 印刷製本費	45	0	45	
17 燃料費	40	0	40	
18 光熱水料費	18,190	0	18,190	
19 賃借料	1,411	0	1,411	
20 保険料	734	0	734	
22 租税公課	1,599	1,285	314	
25 委託費	14,497	0	14,497	
下関運動公園内7体育施設及び下関市フットサル場管理費	2,209	1,000	1,209	
本社費	2,209	1,000	1,209	
経常費用計	75,580	27,985	47,595	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

下関市満珠荘

事業計画書

1. 職員構成

職員 5 名、嘱託職員 2 名及び日々雇用職員をもって管理業務を行う。

2. 営業

- | | | |
|----------|----------|--|
| (1) 利用時間 | 開館時間 | 7 : 00 ~ 22 : 00 |
| | 宿泊時間 | チェックイン 15 : 00 から、チェックアウト翌日 10 : 00 まで |
| | 入浴時間 | 6 : 00 ~ 23 : 00 |
| | 日帰入浴 | 9 : 00 ~ 22 : 00 (受付 21 : 00 まで) |
| | ※火曜日・水曜日 | 13 : 00 ~ 22 : 00 (受付 21 : 00 まで) |

- (2) 休館日 年中無休

3. 管理運営

- (1) 年間 5,000 人の宿泊者及び年間 36,500 人の日帰り入浴者の獲得を目標とする。
- (2) 宿泊者獲得に向け、1 年目 (24 年度) の動向分析を基に、宿泊企画商品等の積極的な販売、新規の文化講座、健康講座、館内イベント、ロビー展示等、自主事業の実施により、施設の目的を最も効率的、効果的に達成する。また、日帰り入浴者獲得に向け、前年度実施したスタンプカード (発行数約 2,000 枚) の継続を行うとともに、脱衣場及び浴場内の清掃を徹底し、常に清潔感を保つことに努め、リピーターの増員を図る。なお、宿泊施設の管理ノウハウを活用した運営を行うとともに、新しいサービス提供によりリピーター利用率の向上に努めることとし、適正な管理運営を行う。
- (3) 平等・公平な利用を確保するため、全ての利用者に等しく快適な施設環境を提供するとともに、運営に関する全ての情報は当施設や市のホームページ、市報など、多様な媒体を通じて広く発信する。
- (4) 地元利用促進のため、社有車による送迎など利用しやすいサービスを実施し、老人会・自治会・企業等の団体誘致に努める。
- (5) 新規利用獲得に努める一方、サービスの提供によるリピーター確保のため、全ての利用者に対し一期一会の接遇に努め、客室環境の充実を図るとともにアンケートによるご意見・ご要望に対し迅速に対応する。
- (6) 四季を通じて地元の食材を生かした魅力ある料理の開発、販売を行う。
- (7) 売店においては、お客様のニーズに合わせた商品の仕入れ管理を徹底し、販売増に繋げる。
- (8) 機械設備に精通した日々雇用職員の雇用を行い、機械設備・安全設備・施設内外の巡視点検を実施、危険要因の排除により人身事故、火災、盗難等の事故防止に努め、安心安全な施設を維持する。
- (9) 電気、水道、ガス、消耗品等の使用を必要最低限とするよう全職員によるコスト管理を徹底し、経費節減に努める。
- (10) 所轄消防署との連携を図り、消防法に基づいた避難・通報訓練を定期的実施、有事における万全を期する。
- (11) 不測の事態が発生した場合は、緊急マニュアルに基づき速やかに対応し、必要な措置を適切に講じる。
- (12) 個人情報保護に関する法律及び下関市個人情報保護条例等、関係法令を遵守するとともに、一般に公開されていない情報の保護についても適正に管理する
- (13) 管理運営全般に関する意見交換・情報交換など下関市との密接な連携により、運営方針についての共通認識を持ち効率的・効果的な施設運営を図る。

4. 設備管理

- (1) 職員による機械設備の日常点検を行い、特殊な設備については専門業者による定期点検を実施する。また、異常の早期発見により機能保全に努める。
- (2) 職員による飲料水・浴場水の日常管理を行なうほか、配管洗浄・貯水槽清掃・水質検等、必要な措置について専門業者により実施、適正な水質管理に万全を期する。
- (3) 厨房の給排水配管及び空調設備等については特に留意し、適正な環境維持に努めることにより衛生管理に万全を期し食中毒等重大事故を防止する。
- (4) 自動販売機等、設置機器の正常な機能保全に努める。

その他会計

15. 満珠荘

(様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	指定管理事業	指定管理事業		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	116,818	90,506	26,312	
施設管理料	1,175	0	1,175	
施設利用料	28,332	34,365	△ 6,033	
飲食料収益	68,277	34,721	33,556	
入浴料収益	16,318	15,425	893	
売店収入	135	5,995	△ 5,860	
販売手数料	1,477	0	1,477	
自動販売機収益	1,008	0	1,008	
遊技機使用料	96	0	96	
雑収益	2	2	0	
受取利息	1	1	0	
雑収益	1	1	0	
経常収益計	116,820	90,508	26,312	
(2) 経常費用				
満珠荘事業費	116,810	86,742	30,068	
2 給料手当	28,076	25,987	2,089	
3 臨時雇賃金	18,600	5,458	13,142	
4 退職給付費用	805	665	140	
5 法定福利費	6,054	3,738	2,316	
8 旅費交通費	520	506	14	
9 通信運搬費	640	486	154	
10 減価償却費	2,256	0	2,256	
11 広告宣伝費	800	300	500	
12 手数料	111	906	△ 795	
13 消耗什器備品費	300	124	176	
14 消耗品費	1,891	514	1,377	
15 修繕費	250	400	△ 150	
16 印刷製本費	470	579	△ 109	
17 燃料費	60	183	△ 123	
18 光熱水料費	15,380	16,867	△ 1,487	
19 賃借料	4,470	5,511	△ 1,041	
20 保険料	161	131	30	
21 諸謝金	0	80	△ 80	
22 租税公課	3,314	2,588	726	
23 支払負担金	20	29	△ 9	
24 報酬	284	350	△ 66	
25 委託費	9,974	5,656	4,318	
29 商品仕入	288	3,465	△ 3,177	
30 原材料費	22,086	12,219	9,867	
満珠荘管理費	10	0	10	
本社費	10	0	10	
経常費用計	116,820	86,742	30,078	
評価損益等調整前経常増減額	0	3,766	△ 3,766	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	3,766	△ 3,766	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	△ 7,900		△ 7,900	
一般正味財産期末残高	△ 7,900	0	△ 7,900	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	△ 7,900	0	△ 7,900	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

下関市営宿舎サングリーン菊川（下関市菊川温泉プール）

事業計画書

1. 職員構成 下関市営宿舎サングリーン菊川（以下、「サングリーン菊川」という。）は、職員5名、日々雇用職員、下関市菊川温泉プール（以下、「菊川温泉プール」という。）は職員1名、嘱託職員1名及び日々雇用職員をもって管理運営を行う。
2. 営業時間
 - (1) サングリーン菊川
開館時間 7:00～22:00、宿泊時間 チェックイン 15:00 からチェックアウト翌日 10:00 まで
入浴時間 6:30～23:00、日帰入浴 11:00～21:00、休館日 年中無休
 - (2) 菊川温泉プール
開場時間 4月から10月まで 10:00～20:00、11月から3月まで 13:00～20:00
休館日 12月28日から翌年1月4日まで
3. 管理運営
 - (1) 菊川地区唯一の宿泊施設として、また全国でもめずらしい温泉プールとして、サングリーン菊川と菊川温泉プールを一体管理することで、同地区を訪れる多くのお客様を受け入れるとともに、ご満足いただけるサービスを提供できるよう適正な運営を行う。
 - (2) サングリーン菊川のセールスポイントである「地産地消で季節感のある料理」「良質で様々な効能のある温泉」「団体利用の誘致には欠かせない送迎バス」をPRし提供することで、市民の方々をはじめ、観光客の誘致に努める。
 - (3) 菊川温泉プールでは、幼児から高齢者まで、更にはリハビリ等で利用されている身体の不自由な方々も安心して利用できる健康増進の場を提供し、市民の皆様の福利向上に寄与する。
 - (4) 両施設においてお客様アンケートを実施し、可能な限り施設運営へ反映する。
 - (5) ホームページによる最新の情報提供をはじめ、市報や情報紙、折込チラシなどタイムリーな広報活動を行い集客に努める。
 - (6) 両施設が公共施設であることを十分に認識し、職場内研修の実施・外部研修へ参加し、平等・公平を旨とするサービスの向上に努めると共に、お客様ひとりひとりに一期一会の接遇を行う。
 - (7) 施設の衛生管理については正しい知識のもと日々適正に清掃及び消毒等処置を行い、食中毒やレジオネラ属菌の発生等、施設運営に致命的な損害を加える事故の防止に対し万全を期する。
 - (8) 電気、水道をはじめとする光熱水料費、事務用品等の消耗品費、料理食材である原材料費などについて、全職員がコスト・省エネルギーに対する意識を持ち不要な経費削減に取り組む。
 - (9) 所轄消防署と連携を図り、消防法に基づいた避難・通報訓練を定期的実施する。また、不測の事態に備え、緊急対応マニュアルを整備するとともに、発生時には適切に対応する。
 - (10) 下関市と密接な連携を取り、共通認識のもと効率的・効果的な施設運営に努める。
 - (11) 個人情報の保護に関する法律をはじめとする各種条例・規則等を遵守し、個人情報の適正な管理及び保護に努める。
4. 設備管理
 - (1) 機械設備の日々点検は職員により行い、不具合箇所の早期発見に努めるとともに、専門的知識を要する点検等においては、専門業者へ業務委託しその実施を監督することとする。
 - (2) 厨房機器及び浴場・プールの水質管理に関する機器については専門業者による保守・点検を実施し、「安心・安全」な環境の提供に努めると共に、重大事故の未然防止に万全を期する。

その他会計

16. サングリーン菊川

(様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度(指定管理事業)			前年度(指定管理事業)			増減	備考
	サングリーン菊川	菊川温泉プール	合計	サングリーン菊川	菊川温泉プール	合計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
事業収益	121,360	30,266	151,626				151,626	
施設管理料	3,500	30,266	33,766				33,766	
施設利用料	26,847	0	26,847				26,847	
飲食料収益	76,496	0	76,496				76,496	
入浴料収益	11,741	0	11,741				11,741	
売店事業収益	1,454	0	1,454				1,454	
自動販売機収益	604	0	604				604	
手数料	718	0	718				718	
雑収益	831	0	831				831	
受取利息	1	0	1				1	
雑収益	830	0	830				830	
経常収益計	122,191	30,266	152,457	0	0	0	152,457	
(2) 経常費用								
サングリーン菊川事業費	120,547	30,189	150,736				150,736	
2 給料手当	19,587	6,526	26,113				26,113	
3 臨時雇賃金	23,108	4,666	27,774				27,774	
4 退職給付費用	579	138	717				717	
5 法定福利費	3,368	1,071	4,439				4,439	
8 旅費交通費	539	64	603				603	
9 通信運搬費	788	180	968				968	
11 広告宣伝費	1,049	0	1,049				1,049	
12 手数料	2,502	163	2,665				2,665	
14 消耗品費	5,368	1,342	6,710				6,710	
15 修繕費	578	201	779				779	
16 印刷製本費	105	95	200				200	
17 燃料費	8,111	6,567	14,678				14,678	
18 光熱水料費	11,163	5,948	17,111				17,111	
19 賃借料	3,001	81	3,082				3,082	
20 保険料	271	57	328				328	
22 租税公課	3,762	604	4,366				4,366	
23 支払負担金	80	12	92				92	
24 報酬	555	0	555				555	
25 委託費	5,861	2,474	8,335				8,335	
28 研修費	12	0	12				12	
29 商品仕入	1,050	0	1,050				1,050	
30 原材料費	29,072	0	29,072				29,072	
31 寄付金	38	0	38				38	
サングリーン菊川管理費	1,644	77	1,721				1,721	
本社費	1,644	77	1,721				1,721	
経常費用計	122,191	30,266	152,457	0	0	0	152,457	
評価損益等調整前経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	
2. 経常外増減の部								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替額								
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
一般正味財産期首残高								
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高								
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

売店

下関市より指定管理者の指定を受けた長府庭園及び下関市ふれあい健康ランドにおいて売店営業を、また、下関市が管理する施設に自動販売機を設置し、来場されるお客様のサービス向上や利便性を確保する。

事業計画書

1. 職員構成

職員2名、嘱託職員1名をもって、独立採算で売店経営の健全な運営を行う。

2. 管理運営

- (1) 施設の良さを生かした対面販売を行い、お客様の購買意欲を高める。
- (2) 施設の特徴にあった商品構成、また季節感ある商品レイアウトや装飾を行うことにより、お客様の購買意欲を高める。
- (3) 売店はおお客様の利便性向上を目的とするだけでなく、施設の魅力発信の一端を担っているという認識のもと、心を込めたお客様対応を心がけ施設のイメージアップを図る。
- (4) 賞味期限や使用期限等、商品管理を徹底し「安全な」商品をお客様へ販売する。
- (5) 周辺地域及び市の観光行政と連携を図り、積極的なPR活動に努める。
- (6) 飲料水自動販売機（市内32カ所58台）の管理運営を行い、お客様へのサービス向上に努める。
- (7) 飲料水自動販売機設置業者と連携し、省電力化できる機器取付等、節電の推進を行う。
- (8) お客様のニーズの把握に努め、売店商品仕入れ及び商品開発を行う。
- (9) 売上金の管理については、安全かつ厳正を期するよう努める。
- (10) 火の山展望台に望遠鏡、下関市ふれあい健康ランドにマッサージ機、彦島体育館等に公衆電話機を設置し、観光や施設利用されるお客様へのサービス向上に努める。
- (11) 長府庭園一の蔵の2階を、各種作品展示のため年間計画により有効活用し、福利厚生への向上への寄与と施設利用者の増加及び増収を図る。
- (12) 物損害や万一の賠償等、各店舗の管理運営に際し万全を期するため、損害賠償保険に加入する。

3. 設備管理

売店2店舗においては、お客様の安全確保のため、店内レイアウトの変更等商品配置の見直しを図り、売り場の改善に努める。

その他会計

17. 売店

(様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	合計	合計		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
事業収益	13,651	13,712	△ 61	
売店事業収益	593	623	△ 30	
販売手数料	4,353	4,759	△ 406	
自動販売機収益	6,429	5,991	438	
遊技機使用料	421	637	△ 216	
実費弁償金収益	1,855	1,702	153	
雑収益	326	332	△ 6	
受取利息	19	25	△ 6	
雑収益	307	307	0	
経常収益計	13,977	14,044	△ 67	
(2) 経常費用				
売店事業費	13,887	14,012	△ 125	
2 給料手当	7,626	7,801	△ 175	
4 退職給付費用	197	197	0	
5 法定福利費	1,181	1,130	51	
8 旅費交通費	108	126	△ 18	
9 通信運搬費	141	201	△ 60	
12 手数料	10	40	△ 30	
13 消耗什器備品費	30	30	0	
14 消耗品費	209	229	△ 20	
15 修繕費	53	53	0	
16 印刷製本費	11	11	0	
18 光熱水料費	1,910	1,559	351	
19 賃借料	831	833	△ 2	
20 保険料	25	30	△ 5	
22 租税公課	481	549	△ 68	
23 支払負担金	8	8	0	
24 報酬	315	420	△ 105	
26 交際費	60	60	0	
27 行事費	184	141	43	
29 商品仕入	507	594	△ 87	
売店管理費	70	0	70	
本社費	70	0	70	
経常費用計	13,957	14,012	△ 55	
評価損益等調整前経常増減額	20	32	△ 12	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	20	32	△ 12	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	20	32	△ 12	
一般正味財産期首残高	55,424	54,627	797	
一般正味財産期末残高	55,444	54,659	785	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	55,444	54,659	785	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

駐車場

山口県が所有する土地について、占用許可を得て月極駐車場として管理運営を行うもの。

事業計画書

1. 職員構成 嘱託職員1名を配置し、管理業務を行う。
2. 利用時間 0:00～24:00 年中無休
3. 利用可能台数
 - (1) 関彦橋駐車場 70台(第1:35台、第2:11台、第3:24台)
 - (2) 筋川駐車場 26台
 - (3) 迫町駐車場 53台
4. 業務内容
 - (1) 使用料の徴収事務、利用者への受付案内を行う。
 - (2) 使用料の取扱については、安全かつ厳正なる管理に努める。
 - (3) 接遇については、利用者等に対して不快感を与えることのないよう特段の注意を払い、状況に応じた適切な対応に努める。
 - (4) 事故や災害等が発生した場合、速やかに対応する。
 - (5) 個人情報の保護に関する法律及び下関市個人情報保護条例等、関係法令を遵守するとともに、一般に公開されていない情報の保護についても適正に管理する。
 - (6) 駐車場に利用促進案内等を掲示し、利用台数の増加を図る。
5. 設備管理

職員による定期的な巡回点検等を行い、危険要因を排除し、入出庫の円滑化や利用者の安全確保及び利便性の向上に努める。

また、場内清掃や植栽の剪定等を行い、美観の維持にも努める。

その他会計

18. 駐車場

(様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
	合計	合計		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	6,120	6,024	96	
駐車場	6,120	6,024	96	
雑収益	5	2	3	
受取利息	1	1	0	
雑収益	4	1	3	
経常収益計	6,125	6,026	99	
(2) 経常費用				
駐車場事業費	6,115	6,000	115	
2 給料手当	1,733	3,189	△1,456	
5 法定福利費	273	272	1	
9 通信運搬費	83	83	0	
11 広告宣伝費	27	0	27	
12 手数料	10	0	10	
14 消耗品費	171	196	△25	
15 修繕費	483	483	0	
16 印刷製本費	0	27	△27	
17 燃料費	18	18	0	
18 光熱水料費	341	341	0	
19 賃借料	647	823	△176	
20 保険料	17	0	17	
22 租税公課	223	174	49	
24 報酬	315	0	315	
25 委託費	394	394	0	
32 予備費	1,380	0	1,380	
駐車場管理費	10	0	10	
本社費	10	0	10	
経常費用計	6,125	6,000	125	
評価損益等調整前経常増減額	0	26	△26	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	26	△26	
2. 経常外増減の部				
経常外収益計	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	26	0	26	
一般正味財産期末残高	26	0	26	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	26	0	26	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。

平成25年度

法人会計内訳

事業計画内訳書

収支予算内訳書

本 社

事業計画書

1. 事務局の体制

- ア. 常勤役員 理事長 1 名、専務理事 1 名
- イ. 職員数 職員 6 名をもって管理運営を行う。
- ウ. 動的連絡体制 連絡車 2 台（運搬車 1 台含む）

2. 事務局の運営

下関市より指定管理者の指定または委託を受けた施設の適正な管理運営を行うとともに、自主企画事業及びこれらに必要な付帯事業について、下関市及び関係各機関との連絡調整等緊密な連携を図り、効率的かつ効果的な運営を進める。

施設管理業務を適正に遂行するために、各事業所の指導及び連絡調整を行い、次の業務を行う。

- ア. 評議員会、理事会の開催に関すること
- イ. 事業計画及び収支予算案等の策定を行う。
- ウ. 事業報告及び決算を行う。
- エ. 職員の人事、給与及び福利厚生に関すること。
- オ. 全事業所の契約に関すること。
- カ. 全事業所の出納事務に関すること。
- キ. 職員の資質向上を目的として研修を実施する。
- ク. 必要に応じ、管理事務所の責任者を集め責任者会議を実施する。

3. 各事業所への指導

- ア. 「最少経費で最大効果を上げること」を目的とし、各事業の効率的、かつ効果的な運営を図るために管理事務所を設置し、当該事業の掌握事務を管理する責任者として役付職員を配置し、業務・事務処理を行うよう指導する。
- イ. 責任者の指導のもと、前例や慣例の踏襲に甘んじることなく、「サービスの向上」、「利用者の増大」、そして「収益の向上」を目的とした新規事業、企画等を立案・実施できるよう促す。
- ウ. 常に、職員による巡視点検・監視体制の強化をはかり、利用者の安全管理及び安全確保に努めるよう指導する。
- エ. 個人情報の保護の重要性を認識し、業務に関して知り得た個人情報の漏えい、滅失、き損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講ずるよう指導する。

4. 事務局の計画

- ア. 事務取扱方法の合理化推進について
各事業所において、必要な経費の支出の事務取扱等について、整理統一、決裁区分の見直し、処理の簡素化を図り、事務効率の改善を実施し合理化を図る。
- イ. ITの有効活用について
インターネットを利用して、各事業所への情報伝達の迅速化及び事務改善に努める。
- ウ. 公社ホームページの公開
公式ホームページを作成公開し、当管理公社の事業内容の紹介、各事業所の情報発信、求人案内等を行い広報に努める。

(様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度			前年度			増減	備考
	本社	福利厚生 事業	合計	本社	福利厚生 事業	合計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	12		12	12		12	0	
基本財産受取利息	12		12	12		12	0	
管理費収益	41,282	0	41,282	32,677	0	32,677	8,605	
本社管理費収益	41,282	0	41,282	32,677	0	32,677	8,605	
火の山地区観光施設	1,120	0	1,120	1,698	0	1,698	△ 578	
火の山ロープウェイ	467	0	467	0	0	0	467	
下関市勤労青少年ホーム	2,699	0	2,699	712	0	712	1,987	
唐戸市場駐車場	3,205	0	3,205	2,687	0	2,687	518	
下関市長府体育館	102	0	102	344	0	344	△ 242	
下関市市民プール	5,200	0	5,200	5,064	0	5,064	136	
下関市彦島体育館	632	0	632	752	0	752	△ 120	
下関市立美術館	768	0	768	1,563	0	1,563	△ 795	
下関市勤労者総合福祉センター	5,089	0	5,089	1,252	0	1,252	3,837	
長府庭園	2,071	0	2,071	2,172	0	2,172	△ 101	
下関市ふれあい健康ランド	12,038	0	12,038	11,262	0	11,262	776	
長府毛利邸	1,380	0	1,380	1,370	0	1,370	10	
粗大ごみ等受付センター	2,491	0	2,491	2,791	0	2,791	△ 300	
スポーツセンター	2,209	0	2,209	1,000	0	1,000	1,209	
サングリーン菊川	1,721	0	1,721	0	0	0	1,721	
満珠荘	10	0	10	0	0	0	10	
売店	70	0	70	0	0	0	70	
駐車場	10	0	10	0	0	0	10	
菊川温泉プール	0	0	0	10	0	10	△ 10	
雑収益	35	1	36	51	1	52	△ 16	
受取利息	34	1	35	36	1	37	△ 2	
雑収入	1	0	1	15	0	15	△ 14	
経常収益計	41,329	1	41,330	32,740	1	32,741	8,589	
(2) 経常費用								
本社管理費	41,329	1,963	43,292	32,740	2,725	35,465	7,827	
1 役員報酬	6,452	0	6,452	5,370	0	5,370	1,082	
2 給料手当	20,371	0	20,371	14,836	0	14,836	5,535	
3 臨時雇賃金	51	0	51	50	0	50	1	
4 退職給付費用	1,108	0	1,108	930	0	930	178	
5 法定福利費	4,026	0	4,026	3,031	0	3,031	995	
6 福利厚生費	610	239	849	0	1042	1,042	△ 193	
7 会議費	39	0	39	0	0	0	39	
8 旅費交通費	93	479	572	95	318	413	159	
9 通信運搬費	517	0	517	435	0	435	82	
12 手数料	153	71	224	782	303	1,085	△ 861	
14 消耗品費	421	63	484	413	126	539	△ 55	
15 修繕費	53	53	106	21	53	74	32	
16 印刷製本費	23	0	23	23	0	23	0	
17 燃料費	130	63	193	118	126	244	△ 51	
18 光熱水料費	540	0	540	450	0	450	90	

(様式2-1)

平成25年度収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度			前年度			増減	備考
	本社	福利厚生 事業	合計	本社	福利厚生 事業	合計		
19 賃借料	574	240	814	1,189	240	1,429	△ 615	
20 保険料	700	83	783	0	103	103	680	
21 諸謝金	0	0	0	100	0	100	△ 100	
22 租税公課	1,677	37	1,714	1,222	37	1,259	455	
23 支払負担金	105	5	110	105	277	382	△ 272	
24 報酬	0	50	50	0	50	50	0	
25 委託費	3,465	0	3,465	3,465	0	3,465	0	
26 交際費	105	50	155	105	50	155	0	
28 研修費	116	530	646	0	0	0	646	
経常費用計	41,329	1,963	43,292	32,740	2,725	35,465	7,827	
評価損益等調整前経常増減額	0	△ 1,962	△ 1,962	0	△ 2,724	△ 2,724	762	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	0	△ 1,962	△ 1,962	0	△ 2,724	△ 2,724	762	
2. 経常外増減の部								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替額								
当期一般正味財産増減額	0	△ 1,962	△ 1,962	0	△ 2,724	△ 2,724	762	
一般正味財産期首残高	11,000	122	11,122	11,000	284	11,284	△ 162	
一般正味財産期末残高	11,000	△ 1,840	9,160	11,000	△ 2,440	8,560	600	
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高								
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
III 正味財産期末残高	11,000	△ 1,840	9,160	11,000	△ 2,440	8,560	600	

注1) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注2) 管理費の収支は本社費において執行している。

注3) 前年度予算の報酬、給料、手当を、給料手当として表示している。